セガサミーグループ

CSR REPORT 2014

Life is Entertainment

セガサミーホールディングス株式会社
グループCSR推進室
〒105−0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル
TEL:03−6215−9055
URL:http://www.segasammy.co.jp

アニュアルレポートとの関連性

アニュアルレポートでは財務情報を中心に報告し、CSRレポートでは非財務情報を中心に報告しています。CSRレポートに掲載されていない財務情報の詳細については、ホールディングスWEBサイトIRページをご覧ください。

 http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/index.html

免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想·予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

Contents

編集方針

2007年の創刊以来、様々なステークホルダーの皆さまに「分かりやすく読みやすい」誌面づくりを目指してきました。セガサミーグループは、今後もCSR精神を経営に反映させるため、ステークホルダーの皆さまとご意見を交換し合いながら、より良い企業市民となるべく、逐次改善を図っていきたいと考えています。このレポートへのアンケートを含め、皆さまの忌憚の無いご意見をお待ちしています。

参考にしたガイドライン

《GRI（Global Reporting Initiative）「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第3.1版」》
《ISO26000(社会的責任に関する手引き)》

［対象範囲］

期間…2013年4月1日～2014年3月31日
発行…2014年9月（次回発行予定：2015年9月）
※一部には発行日直近の報告や、2013年度以前の活動も含めています
組織…セガサミーホールディングス株式会社、株式会社セガ、サミー株式会社
※一部にはその他のグループ会社の活動を掲載しています

［会社名表記の定義］

セガサミーホールディングス株式会社：ホールディングス
株式会社 セガ：セガ
サミー株式会社：サミー

エンタテインメントが持つ無限の可能性を追求し、明日への活力につながる夢と感動をお届けします。

セガサミーグループの存在意義

セガサミーグループは、「私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。」というグループ経営理念を掲げています。私たちの存在意義は、単にエンタテインメントを社会に提供することではありません。エンタテインメントという手段を用いて、世界中のあらゆる人々に楽しさや喜び、夢や感動をお届けすること。そして、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値を創造することこそが、私たちの存在意義であり、存在価値と考えます。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
里見 治

社会の一員として社会的責任を確実に果たす

企業は常に、ステークホルダーの皆さまをはじめ、社会との関わりの中で成り立っています。つまり、社会の一員として社会的責任を果たすことは当然のことであると言えます。セガサミーグループでは、社会的責任を果たし続けるために、それまでのCSRに対する考え方や活動を改めて整理し、2013年度にCSR推進方針を策定するとともに、管理職層を中心にCSR研修を実施するなど、CSRの深化に努めております。また2014年4月には、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」の理念に賛同し、日本のゲーム・遊技機業界で初めて署名しました。今後も、グループ全体の企業活動の中で、UNGCが提唱する人権、労働、環境、腐敗防止の4分野に関する10原則を遵守、実践し、企業としての社会的責任を確実に果たしてまいります。

東日本大震災復興支援活動の継続

震災から3年が経過したいまもなお、被災地では20数万人の方々が仮設住宅等、避難生活を強いられています。セガサミーグループでは、震災直後から社員ボランティアを派遣し、2014年度も引き続き被災地でのボランティア活動に参加しています。また、復興段階では、心のケアが必要と考え、被災地に勇気や元気をお届けするための様々なイベント等も実施しています。時間の経過とともに関心が薄れ、風化される傾向にありますが、被災地ではまだまだ多くの助けを必要としています。私たちは、今後もエンタテインメントを通じて、笑顔や元気を届け、復興への活力につながるサポートをグループ一丸となって継続してまいります。

成長のためには、全社員が常に進化を意識し、積極果敢にチャレンジすることが重要

2014年度は、セガサミーグループが発足して10年を迎えます。私たちがさらなる成長を遂げるためには、グループ全社員が世の中の流れを頭に置き、技術力プラス“サムシング”を意識しながら、世界の総合エンタテインメント企業という目標に向かうことが重要です。私たちを取り巻く事業環境は、グローバル規模で激しく変化し、社会における価値観も多様化しています。こうした激しい環境変化の中で、常にアンテナを高くし、想像力をはたらかせ、お客さまが喜ぶ“一番のもの”を提供し続けること、それがセガサミーグループの成長の鍵となります。また、エンタテインメント業界では、この10年で人々の遊びや遊び方の多様化が急激に進み、お客さまのニーズを捉えるだけではグループとして成長できません。これまでも、「積極進取」、「創造は生命」の精神で、驚きや感動をお届けしてきましたが、今後は、グループ企業各々で培ってきた「強み」、「特長」を活かし、さらなるグループシナジー効果を実現していきます。そのためにも、グループ最大の経営資源であり、価値創造の源泉である社員が積極果敢にチャレンジできる環境や能力を最大限に発揮できる職場環境づくり、そして、年齢や経験、性別、人種を超えた採用・登用を積極的に進めてまいります。モノ創りへのチャレンジ精神旺盛な人財がたくさん活躍し、セガサミーグループで働くことに誇りを持てる企業を目指します。

社会とセガサミーグループの持続的発展を目指して

私たちはこれからも、グループの成長のみならず、日本全体の活性化や世界の持続可能な成長に貢献するために、新たな領域にも積極的に挑戦し、力強く成長し続けてまいります。そのためには、社会の要請や変化を的確に捉え、ステークホルダーの皆さまと“価値観”を共有することが重要です。また、当社グループが提供するサービスや事業規模の拡大に伴い、ステークホルダーや社会に与える影響力が大きくなることも認識しなければなりません。私たちは、こうした状況や責任をしっかりと自覚し、セガサミーグループらしいCSRを実践することで、社会から信頼され発展を期待される企業グループを目指していきます。

国連グローバル・コンパクト概要

Network Japan
WE SUPPORT

国連グローバル・コンパクトとは、「各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組み」です。これは、1999年の世界経済フォーラム（ダボス会議）にて、当時のアナン国連事務総長が企業に対して提唱し、翌2000年に正式に国連の活動としてスタート。人権・労働・環境・腐敗防止の4分野に関する10原則（2004年に腐敗防止に関する原則が追加されて10原則となる）を遵守し実践するよう要請しています。

国連グローバル・コンパクト10原則

分野	原則
人権	原則1：人権擁護の支持と尊重
	原則2：人権侵害への非加担
労働	原則3：組合結成と団体交渉権の実効化
	原則4：強制労働の排除
	原則5：児童労働の実効的な排除
	原則6：雇用と職業の差別撤廃
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ
	原則8：環境に対する責任のイニシアティブ
	原則9：環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則10：強要・贈賄等の腐敗防止の取り組み

セガの総合力をもって、社会が求める価値を提供し続けます

社会の公器としての企業における最大の社会的責任は、利益ある成長によって、様々な価値を社会へ持続的に提供することであると考えています。そして、価値観が多様化し激しく変化する現代の中にあっては、自らの事業について本当に社会が求める価値を提供できているのか、常に自問し続けることが極めて重要と意識しています。

セガでは創業以来、「創造は生命（いのち）」という普遍のDNAにより、世界中の人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供するための積極果敢な挑戦を行ってまいりました。そうして蓄積してきた技術やノウハウは、直面する社会変化に適応し、社会が求める新たな価値としてのエンタテインメントを創造し、提供し続ける底力となります。会社として、この底力を社員一人ひとりが最大に発揮し、グローバルな視点とスピード感をもって新たな挑戦をし続けられる環境を提供することを目指します。

「創造は生命」という信念とセガの総合力を活かすことで、社会の求める新たな価値を持続的に生み出し、さらなる豊かな社会の実現と文化の創造に貢献してまいります。

株式会社セガ
代表取締役社長COO
岡村 秀樹

サミー株式会社
代表取締役社長COO
青木 茂

成長をさらに確実なものとしていくために

サミーでは、どのような環境の変化にも柔軟に対応できる適応性を持って成長し続けるために、組織体制や人事制度など、果断に改革を進めています。そして、成長をさらに確実なものとしていくために、質の高い協調性を図ることで強靭な企業体質を構築することを目指しています。質の高い協調性とは、社員が互いを尊重し合い、活発に意見を交わしながら協力し、同じ目標に向かって進むことであり、自分のためではなく、会社やグループ、業界の発展のため、さらには社会の発展を見据えた上で、行動するということです。このように、社員全員が「フォア・ザ・カンパニー」の精神で、ものを考えることができれば、より強い集団になれると確信しています。

一方で、変化が激しい環境だからこそ、自らの理念や原点に立ち返ることも大切です。サミーには、創業時から掲げる社是「積極進取」があります。これこそがまさに、脈々と受け継がれてきた我が社の伝統、強みであり、サミーの成長を支えてきた原動力といえます。私たちはこれからも、パチンコ・パチスロ産業が身近で手軽な娯楽として存在し、多くの方々から愛され続けるよう、夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し続けます。そして、事業を持続的に発展させていくことで社会的責任を確実に果たし、業界の活性化や日本全体の活性化にも寄与してまいります。

グループ概要

セガサミーグループは、株式会社セガとサミー株式会社を中心として家庭用ゲームソフト、パチンコ・パチスロ遊技機、モバイルPC向けゲーム、玩具、アニメーション、携帯電話コンテンツ等幅広いエンタテインメント領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループです。

1951年創業のゲームメーカーのセガと1975年設立のパチンコ・パチスロメーカーのサミーが世界的な総合エンタテインメント企業を目指して2004年に経営資源を統合し、セガサミーグループとなりました。私たちは、大人から子どもまで幅広い年代のお客さま、国内、海外のお客さまに創造性溢れるエンタテインメントを提供し続けています。

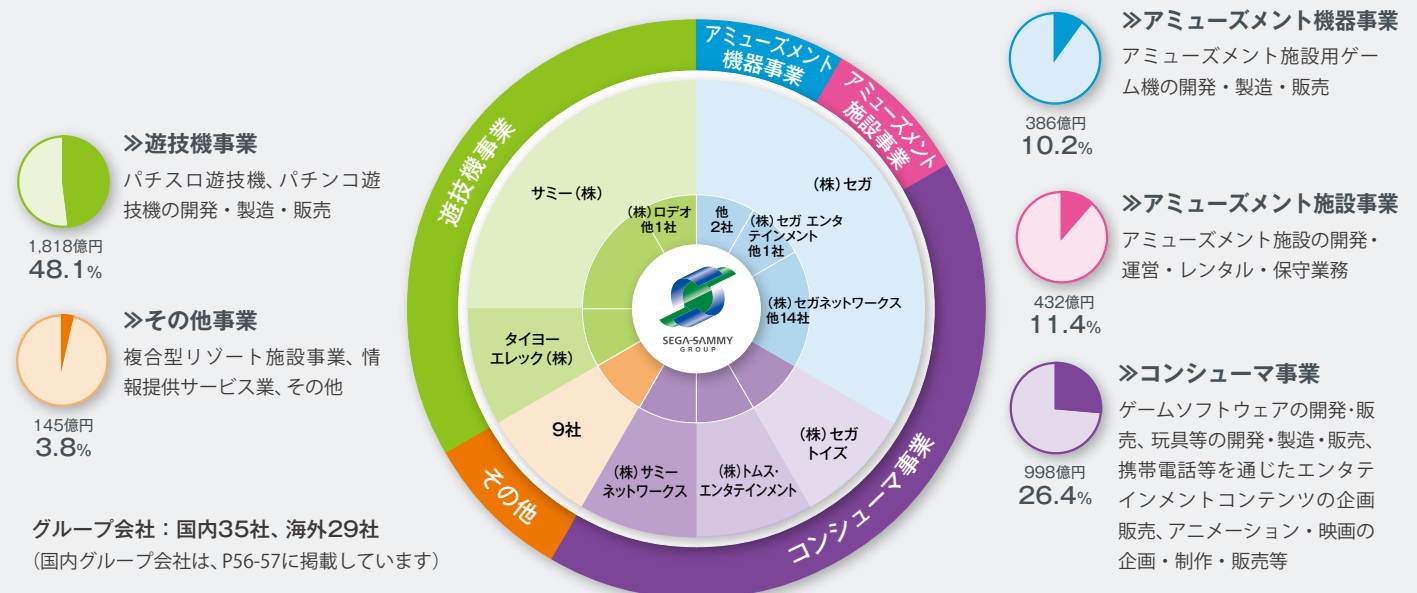
セガサミーホールディングス会社概要

2014年3月31日現在

項目	内容
社名	セガサミーホールディングス株式会社
本社所在地	〒105-0021　東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル21階
設立	2004年10月1日
資本金	299億円
代表取締役会長兼社長	里見　治
事業内容	総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、グループの経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	119名

事業データ

≫遊技機事業
パチスロ遊技機、パチンコ遊技機の開発・製造・販売
1,818億円
48.1%

≫その他事業
複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業、その他
145億円
3.8%

グループ会社：国内35社、海外29社
（国内グループ会社は、P56-57に掲載しています）

≫アミューズメント機器事業
アミューズメント施設用ゲーム機の開発・製造・販売
386億円
10.2%

≫アミューズメント施設事業
アミューズメント施設の開発・運営・レンタル・保守業務
432億円
11.4%

≫コンシューマ事業
ゲームソフトウェアの開発・販売、玩具等の開発・製造・販売、携帯電話等を通じたエンタテインメントコンテンツの企画販売、アニメーション・映画の企画・制作・販売等
998億円
26.4%

経常利益／経常利益率

	'12	'13	'14
経常利益（左軸）(億円)	582	209	405
経常利益率（右軸）(%)	14.7	6.5	10.7

（年3月期）

総資産／純資産（資本）

(億円)	'12	'13	'14
総資産	4,975	5,285	5,429
純資産（資本）	2,964	3,200	3,483

（年3月期）

従業員数

(名)	'12	'13	'14
正社員	6,700	7,008	7,472
非正規社員	6,851	6,694	7,393

（年3月期）

世界中の人々に夢と感動を与える セガサミーグループの製品・サービス

アミューズメント施設事業

アミューズメント施設において、お客さまのニーズを捉えたゲーム機の構成とサービスの充実により快適なプレイ環境を提供する一方、知育要素をあわせ持ったファミリー向けの施設にも取り組むなど、立地やターゲットに即した店舗開発、施設運営を行っています。さらに、国内最大級の屋内型テーマパーク「東京ジョイポリス」、ダーツをメインコンテンツに飲食も充実させた「Bee」など、幅広い施設展開を行い、遊びを通じたコミュニケーションの場の創造に取り組んでいます。

ダイニングダーツバーBee

池袋GiGO

オアシスパーク

東京ジョイポリス

Orbi Yokohama（オービィ横浜）

アミューズメント機器事業

卓越した開発力を武器に、革新的な製品を他に先駆けて世に送り出すことでマーケットの発展に貢献してきました。幅広いユーザーをカバーする製品のフルラインナップ体制を構築しており、中でもネットワーク対応型ゲーム等の高付加価値製品を強みとしています。また、アミューズメント市場の活性化を目指し、新たなビジネスモデルの導入を推進しています。

DARTSLIVE2
ⓒDARTSLIVE

CODE OF JOKER
ⓒSEGA

WORLD CLUB Champion Football シリーズ
ⓒSEGA ⓒPanini S.p.A. All Rights Reserved
PANINI The game is made by Sega in association with Panini.
ⓒ2009 JFA

その他事業

複合型リゾート施設の開発・運営やゴルフ場運営、コールセンター、舞台演目の制作・興行等、時代の変化や社会のニーズに合わせた幅広いエンタテインメント事業を展開しています。

ザ・ノースカントリーゴルフクラブ

フェニックス・シーガイア・リゾート

コンシューマ事業

家庭用ゲームソフト事業は、「ソニック」シリーズをはじめ、数多くの有力タイトルを擁し、「セガ」ブランドは世界中で高いブランド力を確立しています。製販一体による事業体制の構築と日米欧地域間連携の強化により、さらなる収益力向上に努めています。このほか、グループ企業により携帯電話・PC向けコンテンツ事業、玩具事業、映像事業等を展開しています。

夢ねこセレブ
ⓒ2014 Hasbro ,ALL Rights Reserved.

ハートエナジー ブーチ
ⓒSEGATOYS

777TOWN for Android
パチスロ蒼天の拳2
ⓒ原哲夫・武論尊/NSP 2001,
版権許諾証PEL-211
ⓒSammy

スマイルタッチ デンタル
ⓒ2014 Gullane (Thomas) Limited. ⓒSANRIO CO.,LTD.
ⓒ藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK
ⓒABC・東映アニメーション ⓒbaby toi
ⓒ Nintendo･Creatures･GAME FREAK･TV Tokyo･ShoPro･JR Kikaku
ⓒPokémon ⓒ1998-2011 ピカチュウプロジェクト
ⓒやなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV
ⓒ青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS1996
ⓒ青山剛昌／小学館・TMS

それいけ!アンパンマン りんごぼうやとみんなの願い
ⓒやなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV ⓒやなせたかし／アンパンマン製作委員会2014

名探偵コナン 異次元の狙撃手（スナイパー）
ⓒ2014青山剛昌／名探偵コナン製作委員会

Total War：ROME II
ⓒSEGA. The Creative Assembly and the Total War logo are trademarks or registered trademarks of The Creative Assembly Limited. SEGA and the SEGA logo are either registered trademarks or registered trademarks of SEGA Corporation. All Rights Reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.

ラーメン魂

ヒーローバンク
ⓒSEGA

ぷよぷよ!!クエスト
ⓒSEGA ⓒSEGA Networks

チェインクロニクル
ⓒSEGA/ⓒSEGA Networks

遊技機事業

遊技機事業は、パチンコ遊技機事業とパチスロ遊技機事業で構成されています。サミー社を中心にマルチブランドを展開し、幅広いファンのニーズに応える製品を供給しています。パチンコ遊技機ではさらなる開発力の強化により、市場におけるプレゼンスの向上を目指し、パチスロ遊技機では市場の活性化に寄与する斬新な遊技性を備えた機械の開発・供給に取り組んでいます。

ぱちんこCR 北斗の拳5 百裂
ⓒ武論尊・原哲夫/NSP 1983, 版権許諾証YHB-107
ⓒSammy

CR火曜サスペンス劇場
ⓒNTV ⓒ大映テレビ
ⓒホリプロ ⓒ東宝芸能
ⓒ山村美紗オフィス
ⓒTAIYO ELEC

パチスロ北斗の拳 転生の章
ⓒ武論尊・原哲夫/NSP 1983,
ⓒNSP 2007 版権許諾証YGL-126
ⓒSammy

回胴黙示録カイジ3
ⓒ福本伸行/講談社・VAP・NTV
ⓒ福本伸行/講談社・VAP・マッドハウス・NTV・D.N.ドリームパートナーズ
ⓒSammy ⓒRODEO

特集1

お客さま満足の最大化に向けて

～人づくりを中心に、安全・改善・社会貢献活動を強化～

サミー川越工場は、業界トップクラスの生産能力を有する新工場として、2012年9月に稼働を開始しました。いま当工場では、こうしたハード面が持つ価値を最大限に活かし、お客さま満足の最大化に向けて、ソフト面の強化に社員一丸で取り組んでいます。

工場の役割と使命

瞬発力と競争力ある工場の実現を目指して

私どもの業界は、遊技機の販売が発売初期に集中する傾向があり、そうした需要に的確に応えることがお客さま満足の最大化につながります。そこで当工場では、QCD（クオリティ、コスト、デリバリー）の最適化を目標に掲げ、瞬発力と競争力ある工場の実現を目指し、社員一丸となって取り組んでいます。

2012年9月に稼働を開始した当工場は、最新鋭の設備や業界トップクラスの生産能力を誇ります。しかし、こうしたハード面の充実も、それを操る人の力無くして価値の最大化を図ることはできません。いま、私たちはそうしたハードの価値を最大限に活かすために、人づくりを中心に、安全・改善・社会貢献活動など、QCDの基盤となる、いわゆるソフト面の強化に取り組んでいます。

私たちはこれからも、お客さま満足の最大化に向けて、「積極進取」の精神で全社員一丸となって取り組んでいきます。

サミー株式会社
執行役員 生産統括本部
副統括本部長 製造本部長
西村 一夫

安全

「6Sパトロール」で安全文化を形成

オートメーション化した製造現場であっても、多くの人の手が無ければ確かなものづくりはできません。だからこそ、社員の健康と安全は、ものづくりの現場では最重要テーマです。サミー川越工場では、毎月開催される安全衛生委員会のもと、社員自らが身のまわりに潜む危険要因をチェックし、都度改善する「6Sパトロール※」を実施しています。労働災害は気の緩みや細かな乱れから生じるため、現場の危険箇所のみならず、作業手順や服装等あらゆる点をチェックし、改善を図っています。また、2011年度からは各部門や職場の業務特性に沿った取り組みも必要と考え、部門ごとの安全パトロール活動も展開しています。

※6S：整理・整頓・清掃・清潔・躾・セーフティー

サミー株式会社
生産統括本部 管理部
磯崎 尚記

［安全衛生委員会 推進担当者の声］

安全を職場の風土・文化に

6Sで最終的に重要なのは躾、つまり習慣化だと思います。各自が意識しなくとも安全や改善を当たり前に実行できることが理想です。6S活動のレベルアップはもちろん、掲示物での喚起を工夫するなど、安全が職場の風土・文化へと定着するよう取り組んでいきたいと思います。

作業者の安全を確保するためのチェックはもちろん、作業効率や工場の美化、避難経路の確保等、様々な視点で入念にチェックしています。

現場に8Sが定着し、外部の方々からラインがきれいだねとお褒めいただくことが増えました。

［製造部 8S活動 推進担当者の声］

安全は全員で取り組んでこそ

製造部では、全社の6S活動に節電・セキュリティを加えた「8Sパトロール」として、独自に展開しています。気になった点等はその場で写真を撮り、どう改善するかを全員で徹底的に議論し改善しています。「安全はこれでよし」ということはありません。今後も安全で働きやすい職場環境をつくるため、全員でさらなる改善を図っていきます。

サミー株式会社
製造本部 製造部
水野 達矢

改善

サミーの成長は、現場の常日頃からの改善にあり

カイゼンは自社の企業価値向上につながる最重要活動と位置づけ、瞬発力と競争力を兼ね備えた工場の実現に向けて、生産効率や品質の維持・向上、安全な職場環境の確保、コスト改善等、あらゆる視点で日々改善活動を実践しています。こうした改善活動の結果・成果を発表する「現場改善発表会」を年に2回実施しており、改善発表会を実施し始めてから、改善結果や成果が指標化されることで、次への取り組みやステップが明確になり、飛躍的に改善活動がレベルアップし、さらには社員のモチベーション向上にもつながっています。

サミー株式会社
製造本部 製造部
今野 智宏

［現場改善発表会 優勝チーム代表者の声］

改善活動は成長の原動力

仕事をする上で大切なことは、日頃から問題意識を持つことだと思います。常にそうした意識を持つこと自体が改善活動ですし、その改善で得られた成果によって、仕事にやりがいや楽しさも加わることが改善活動の醍醐味です。改善活動はまさに、自分自身の、そして会社の成長の原動力だと思います。

チームごとに半年間の改善活動の結果・成果を発表、投票により優勝チームが決定します。

人づくり

ものづくりは人づくり

人事部主導の教育研修に加え、各部署でも勉強会やリーダー育成等、生産現場に求められる能力を高めるための人財教育に取り組んでいます。製造部では、アクションラーニング等を通してリーダーシップやチームワーク等を学んでもらい、生産現場ならではの協力・連携の大切さを改めて体験する機会を設けています。また、地球規模の環境問題が深刻化する中、生産現場ではもちろん、家庭でも環境を意識した生活を送れるよう、環境教育等も行っています。

ブロックを活用して、計画・生産・納品・販売の一連の工程を仮想体験し、各部署でどのような課題があるかを学び、全体最適で生産性を高めるための訓練をしています。

［教育研修 担当講師の声］

気づきを与えることが学びを促進する

製造部では業務の特性上、モノと接する時間が長く、各自に与えられた領域を時間通りに正確に全うすることを重視し、業務に没頭することが多いのが現実です。そこで、7年前から製造部独自の勉強会等を企画・立案しています。内容は、準備の大切さや各部・各自のコミュニケーション強化の必要性等、普段の業務改善に役立つような企画にしています。これからも、社員の皆さんの気づきを刺激できるような企画を考案・実践し、人財力のレベルアップに少しでも貢献していきたいと思います。

サミー株式会社
製造本部 製造部
庄司 一喜

社会貢献

「企業市民」として社会に継続的に貢献し続ける

本来の事業活動を通じて社会に貢献することはもちろん、社会を構成する一員であることを自覚し、社会貢献活動も積極的に進めています。これまでも、献血活動やエコキャップ運動、盲導犬募金活動等、全社員参加による活動を中心に継続的に取り組んできました。2012年からは川越工場の地元で開催される「小江戸川越マラソン」に特別協賛するなど、地域との連携・貢献にも力を入れています。

2013年度は、献血活動に長年貢献したことが認められ、埼玉県赤十字血液センターから感謝状をいただきました。

［社会貢献活動 推進担当者の声］

社会貢献は地道に継続することが大切

サミー川越工場では、全社員参加型の活動を地道に継続することが重要と考え取り組んできました。社員発案ではじまった企画やサミー全体で取り組む活動への協力等、これまで継続してきた活動は決して途絶えることなく、浸透しています。今後は、工場のある地元の工業会との協力・連携など、地域とのかかわりも意識して活動を進めていきたいと思います。

サミー株式会社
生産統括本部
管理部
宮本 勝紀

特集2

『ヒーローバンク』を通じて子どもたちに届けたいこと

～セガのゲームづくりに込めた想い～

セガはこれまで、ゲームをはじめとする多様なジャンルのエンタテインメントを世界中に発信してきました。感動や興奮、爽快感、達成感などのゲーム本来の魅力はもちろん、その先にある仲間との「つながり」や家族の「絆」といった、大切な価値を届けています。

そして、セガのコンテンツをお客さまに安心してお楽しみいただけるよう、様々な角度から製品・サービスの安全性を追求しています。業界が定めるレーティングの表示や、対象年齢に合わせた表現等を徹底し、そのコンテンツに触れるお客さまと与える可能性のある影響を考えた開発を行っています。ハード面でも、製品の品質保証体制を確立し、安全な製品の開発ノウハウを積み上げてきました。

本特集では、2014年からセガが新たに展開している子ども向けタイトル『ヒーローバンク』の取り組みを通して、セガがゲームづくりに込めている想いをご紹介します。

子どもたちに伝えたいこと

今回、子ども向けの新タイトルにチャレンジするにあたって、キッズ市場に新たな価値を創出することを目指し、「お金」をモチーフにした『ヒーローバンク』という物語を考えました。お金を選んだ理由のひとつには、携帯端末などの普及により、間接的であったとしても子どもたちがお金に関わる機会が昔に比べて増大している現在こそ、「お金の大切さ」を感じて欲しいという想いがあります。

この『ヒーローバンク』の主人公は小学生で、振りかかる物事を自らの力だけでは解決することができません。しかし「にっこり0円」を信条に、困っている人や友だちを助けたいという気持ちから、ヒーローバトルで様々なトラブルに挑みます。主人公の熱い想いが観戦する人たちの気持ちを動かすことでバトルを助けてもらったり、ヒーローバトルで戦うためのお金を主人公が一生懸命に貯めたりするシーンもあり、「お金」をきっかけにして子どもたちが友情や助けあい、人との絆などの大切なものに気付けるようなメッセージを盛り込んでいます。子どもたちがプレイを通して、こうしたメッセージを自然に感じ取りながら楽しんでくれれば嬉しいです。

株式会社セガ
第三研究開発本部 第三CS研究開発部
下里 陽一

ヒーロバンクとは?

STORY

ニンテンドー3DS™用ソフト『ヒーローバンク』をはじめとした、テレビアニメ、アーケードゲーム、マンガ、玩具、UFOキャッチャー用景品など、セガグループが総力を挙げてクロスメディア展開をする男児向け新規コンテンツです。「お金」をメインテーマに据えたまったく新しい"マネーバトルRPG"としつつも、王道的なバトルもののストーリーが展開します。主人公は小学5年生の豪勝カイト、レーサーや野球選手といった実際の職業をモチーフとしたデータスーツ"ヒーロー着"を身にまとい、新時代のサイバースポーツ"ヒーローバトル"に出場して夢の億万長者を目指します。様々な局面で「お金」が重要なキーワードとして登場し、プレイヤーは主人公のカイトを通してお金を稼ぐこと、守ることの大切さを学ぶことができます。

安心して楽しんでいただけるものづくり

時にゲームは、ある特定の側面のみがクローズアップされ、社会から批判されることもあります。しかし、私たちはエンタテインメントに関わるプロとして、そうした懸念をしっかりと受け止め、お客さまに安心して楽しんでいただけるよう、セガの自主基準、業界団体のガイドラインへ準拠した安全管理の取り組みを徹底しています。この『ヒーローバンク』がモチーフとした「お金」も一見するとネガティブなイメージがありますが、それによるお子さまへの影響について、保護者の方々がどういったことを不安に感じるのか入念にリサーチし、懸念が生じないよう十分に配慮して開発を進めました。

また、暴力的な表現やキャラクターの言葉遣いにも注意し、一方であえて子どもには難しい言葉、例えば"契約"や、"連帯保証人"といった言葉を用いることで、子どもからの素朴な「〇〇ってなに?」という疑問から始まる親子の会話、コミュニケーションを促しています。他にも、音感として「とうし(闘資)」、「トレーダー(ファイトレーダー)」など、金融に関わる言葉も忍ばせていますので、お父さん、お母さんもお子さまに教えながら、一緒に『ヒーローバンク』を楽しんでいただければ幸いです。

テレビアニメからのワンシーン

子どもたちに長く愛されるために

『ヒーローバンク』を通して、子どもたちに「友達の大切さ」「誰かのための努力」など、たくさんの大切なことを感じて欲しいと思っています。だからこそ、提供するメディアもゲームの他、テレビアニメ、マンガ、トレーディングカード、玩具等、セガサミーグループの強みをいかんなく発揮しながら展開させ、それぞれを連動させることで、様々な角度から『ヒーローバンク』を楽しんでいただけるようにしています。2014年11月には、続編となるニンテンドー3DS™用ソフト『ヒーローバンク2』の発売も予定しています。『ヒーローバンク』を子どもたちに長く愛される作品へと育てていきたいと思います。

～子どもたちが安全に遊べるように～ アーケードゲームにおける安心・安全な設計

お子さまがカードを舐めてしまっても影響がない素材の採用や、カードの角丸処理等の安全設計を徹底しています。

このカードの角丸処理についてはカードの耐久性向上にもつながり、お気に入りのカードで長く遊びたいお客さまの期待に応えています。

プレイヤーへの影響を考慮し、LEDや画面の光について光過敏性チェックを徹底いたしました。また「アイトラッキング」というシステムによりプレイ中の視点を分析し、映像、効果を設計することで、プレイヤーの目への負担を抑えています。

カードの取出口はプレイヤーの手が挟まりにくい形状に設計。

筐体デザイン

高さや重心バランスを考え、筐体が転倒する可能性を低減するとともに、万が一の時に機能する転倒防止フックを標準装備しています。また、筐体上のPOPは取り外し可能なため、プレイ中のお子さまをご両親が容易に視認可能なように運営できる設計にしています。

『ヒーローバンク アーケード』に盛り込んだ工夫

『ヒーローバンク アーケード』は、セガのキッズゲーム・カードゲームのノウハウを結集して開発を行い、2014年7月に全国稼働しました。3枚のヒーローカードでデッキを組み、3つのサイコロを振ってバトルを行います。このサイコロの目によってバトルを有利に進められるので、「子どもの算数の勉強になる」と言ってくださる親御さんもいました。

ゲーム機には最新技術のプリンターが内蔵されており、バトル後に好きなヒーローをカード化することができます。わずか20秒ほどでハイクオリティーなカードが出てきて、しかもそのカードには自分の名前や成長記録がプリントされるので、手にした子どもたちから大変喜ばれています。また、この技術は店舗を運営するオペレーターの方々からも好評をいただいています。従来のキッズカード機はバージョン毎に印刷されたカードを購入するため、バージョンアップの度に前バージョンのカードを破棄しなくてはならないという課題がありましたが、この内蔵プリンターの採用により、コストと廃棄物の抑制に貢献することができました。

ぜひ、『ヒーローバンク アーケード』を親子でも、友だち同士でも楽しんでいただければと思います。

株式会社セガ
第一研究開発本部 AM R&E研究開発部
髙橋 和也

特集3

より快適な眠りへといざなう
〜家庭用プラ寝たリウム『HOMESTAR』〜

ストレス社会と言われる現代、健康や美容に大きく影響すると考えられている睡眠。その「睡眠の質」向上にホームスターが有効だという検証結果がでました。

シリーズ世界累計販売数 85万台!
※2014年4月現在

『HOMESTAR』は、セガトイズとプラネタリウム・クリエーターの大平貴之氏との共同開発により2005年に誕生した、家庭用プラネタリウムです。人々の生活スタイルが多様化する中、お客さまのニーズを起点としたアイディアをもとに、製品のラインナップを拡充し続け、天文ファンのみならず、幅広い層のお客さまに受け入れられています。

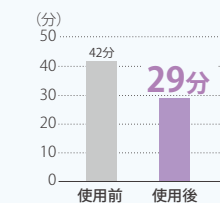
『HOMESTAR』と快眠効果について

日本人は、生活習慣の多様化により5人に1人が睡眠トラブルを抱えているとも言われています。そうした中、『HOMESTAR』の利用者から「就寝時に使用するようになってから、よく寝られるようになった」との喜びの声を多数頂戴したことがきっかけで、『HOMESTAR』の使用による快眠の効果について検証することになりました。検証は、生活健康学の第一人者である大阪府立大学名誉教授清水教永氏に依頼しました。本検証の結果、被験者に平常の睡眠と『HOMESTAR』を鑑賞しながら就寝した睡眠を比較したところ、大きく3つの効果を得られることが判明しました。

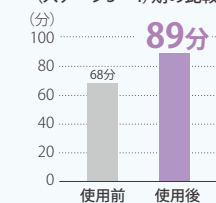
快眠効果の検証結果

1 寝つきがよくなる
使用前に比べ平均30%入眠時間が短縮した

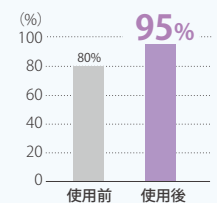
★『HOMESTAR』継続使用前後の入眠時間の変化

	使用前	使用後
(分)	42分	29分

2 眠りが深くなる
質の良い「ノンレム睡眠ステージ3〜4」の時間が平均30%延びた

★『HOMESTAR』継続使用前後の徐波睡眠（ステージ3〜4）期の比較

	使用前	使用後
(分)	68分	89分

3 寝起きがよくなる
覚醒時の快適度が平均20%向上した

★『HOMESTAR』継続使用前後の覚醒時の快適性評価

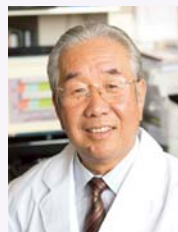
	使用前	使用後
(%)	80%	95%

※グラフは『HOMESTAR aurora』での検証結果です。
※快眠効果には個人差があり、すべての方に同様の検証結果を保証しているものではありません。

担当者の声

毎日の生活空間にプラ寝たリウム習慣をご提案していきます

都市部では光害（ひかりがい）の影響で、気軽に星を楽しむことができなくなって久しいわけですが、そうした中、エンタテインメントの力で、いつでも誰とでも満天の星を楽しんでいただき、感動や驚きをお届けしたいというのが、10年前に『HOMESTAR』の開発に臨んだきっかけでした。最近では、「お風呂場でも使いたい」、「寝る前に癒されたい」など、星空を楽しむだけでなく、入眠やリラックス空間を演出するアイテムとしてのニーズが高まってきました。今後も、星空への興味喚起はもちろん、毎日の生活にひと時の安らぎをお届けするツールとして、製品ラインナップを広げていきたいと思います。

株式会社セガトイズ
ニュープロダクト事業部
ライフスタイル部
早川 徹哉（左） 後藤 広樹（右）

ステークホルダーの声

生活健康学研究所 所長／
大阪府立大学 名誉教授
清水 教永 氏

眠りの質を高めるためには生活環境の改善が重要です。その中でも特に、光環境を変えるだけで眠りの質が高まることが分かっています。今回の実験結果から、『HOMESTAR』を生活に取り入れて、快適な睡眠に結びつけることは可能性があると言えます。

特集4

自然環境や地域社会と共生するリゾートを目指して
〜フェニックスリゾートのCSR活動〜

日本有数のリゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」を運営するフェニックスリゾートでは、お客さまの満足度向上への取り組みだけでなく、自然環境や地域社会の皆さまと共生するリゾートとして、様々な取り組みを行っています。

お客さまへの約束

お客さまに心身ともにリラックスして「元気」になってお帰りいただくことこそが、最大の使命という考えのもと、「お客さまへの約束」を策定し、全スタッフが一丸となってお客さまの満足度を追求、極上のリゾートステイのご提供を目指しています。

お客さまの期待値を超えるサービスを目指して

当リゾートでは、お越しいただいたすべてのお客さまへ感動を提供するために、“SCE（Sheraton Customer Experience）活動”を展開しています。これは、お客さまが体験した瞬間に「WOW!」「まあ!」と、つい口に出してしまうほどの感動体験をご提供する活動です。私たちスタッフの喜び、やりがいは、お客さまの笑顔とお客さまからいただく「ありがとう」という言葉です。これからも、お客さまの期待を超える、とっておきのおもてなしをスタッフ全員で考え、実践していきます。

シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート
宿泊部 コンシェルジュ
黒木 徹

シーガイアのロケーションを十二分に活かした至福のサービス

“SCE活動”の中でも、お客さまに是非紹介したいシーガイアの魅力として「月の道」に関する取り組みがあります。「月の道」とは、満月の夜に海から月が昇り始め、その月光が海面に映り、細長く美しい光の道が現れる、月に数日間しか見る事ができない自然現象です。東側に雄大な海岸線があり、そこに地上154mの高層ホテルが建つシーガイアならではのロケーションだからこそ、ひときわ美しく幻想的な「月の道」を見る事ができます。最上階の一般開放やオリジナルカクテル等、この「月の道」をもっとお楽しみいただくため、スタッフの発案から様々なサービスをご提供しています。

フェニックス・シーガイア・リゾート
広報課
上田 泰郎

黒松の森と共生するリゾートであるために

フェニックス・シーガイア・リゾートは、南北約11キロ、約700ヘクタールの広大な黒松林に囲まれた自然の中に広がるリゾートです。その黒松林は、約200年前に、住民の暮らしを飛砂や潮害から守るために植栽されたと言われています。

現在、日本各地で環境変化や病害虫の影響などにより、松林の喪失が深刻化する中、シーガイアでは「黒松の森宣言」を策定し、松林の整備に取り組んでいます。

障がい者の方々と寄り添って

フェニックス・シーガイア・リゾートの各施設のリネン類クリーニングを担うランドリー工場では、障がい者雇用を推進しています。現在社員40名のうち、12名が障がいをもつスタッフです。約20年務めるベテランから、数年の新人まで、各自の持ち場を一生懸命こなし、工場になくてはならない存在として活躍しています。

この地の財産、黒松を守り育み続けます

この地域の黒松は美しい緑のまま永い年月の間、保たれてきました。これは、これまで森に関わる人々が長い歴史の中で、こまやかに手入れしてきた証です。黒松の森は、住民の暮らしを潮害から守るだけでなく、私たちに安らぎと癒しをもたらしてくれます。私たちはこの黒松を、日本の、宮崎の、そしてシーガイアのかけがえのない財産として、次世代へと引き継ぐ必要があります。今後も地域の皆さまとともに、守り育んでいきます。

フェニックス・シーガイア・リゾート
ランドスケープ部
上塘 昭彦

フェニックス・シーガイア・リゾート ランドリー工場の皆さん

セガサミーグループの東日本大震災復興支援活動

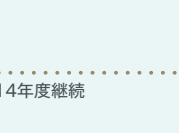
セガサミーグループでは、2011年３月の東日本大震災発生直後から、被災地域の要請やニーズに合わせて様々な支援活動を行ってまいりました。現在も仮設住宅等、避難生活を強いられている方は、いまだ20数万人と聞きます。今後は、「風化させない」「仮設住宅でのコミュニケーション向上」など、真の復興までグループとしてできることを継続してまいりたいと思います。

これまでの活動の変遷

●2011年3月～
東日本大震災発生直後から、義援金や物品寄贈、商品の売り上げの一部寄付等を実施

●2011年9月～
NPO等と連携し被災地支援活動を実施

2014年度継続

●2011年6月～
社員ボランティア活動をスタート
(2014年7月まで計35回実施、のべ401名参加)

2014年度継続

●2011年6月～
都内・近郊に避難されてきた方々等を東京ジョイポリスへご招待
(2013年3月まで計24回実施、643名ご招待)

●2011年12月～
被災地応援イベントをスタート
(2014年8月まで計16回実施)

2014年度継続

被災地応援イベント

被災地にエンタテインメントを通じて〝笑顔と元気を届ける〟をテーマに、2011年から応援イベント実施しています。2013年4月～2014年8月は計11回、グループリソースである「UFOキャッチャー」「ヒーローバンク」「パンダコパンダ」「キッズメダルゲーム」「ダーツ」等を活用し、岩手県盛岡市、宮城県名取市・七ヶ浜町・東松島市・南三陸町、福島県福島駅前・飯舘村にて、地域のお祭りやイベント等に協力し、市民、町民の方々に、楽しんでいただきました。今後も地域、人々にエンタテインメントが持つ力で、笑顔を届けてまいりたいと思います。

どの会場もたくさんの方にご来場いただきました

ご来場いただいたお子さまからはたくさんのメッセージをいただきました

参加社員の声

「これからも、現場でお客さまに元気を与え、地域活性化につながるよう、地域の遊びを引っ張っていきたいと改めて実感した楽しいイベントでした。」

「すべてが印象的でした。〝楽しむ〟ことが、その人の生活を豊かにできる。日々向き合っている私たちの仕事の本質を、改めて確認することができました。」

「ゲームを楽しむ姿を間近で見て、自分の仕事の先にあるものを改めて考える貴重な機会とともに、エンタテインメントを提供するセガサミーグループだからこそできることを感じた一日でした。」

「イベントを通じて現地の方々を少しでも応援できたのであれば、こんなに嬉しいことはありません。子どもたちの『また来て欲しい』というメッセージに、特に楽しみにしているイベントなのだと改めて感じました。」

「子どもたちの屈託のない笑顔や、はしゃいでいる姿に、私自身何も代え難い大きなお土産をいただきました。そして、グループ社員の皆さんの一生懸命の姿にも感激し、こんなに素敵な方たちと同じグループ会社の社員として働けていることを誇りに思います。」

「遊びを通して、直接子どもたちとふれあい、元気な笑顔を見ることができたのは、嬉しい限りです。グループ全体でイベント活動に参加し、微力ながらも参加できたことは本当に良かったです。」

「衣食住の形ある物だけではなく、我々セガサミーグループ〝遊＝エンタテインメント〟というサービスも被災地には意味のある物だと実感しました。」

ステークホルダーの声

震災から3年。町土の3分の1が津波の被害を受けた本町にも、ようやく復興の槌音が響いてくるようになりました。震災直後から全国の多くの皆さまにご支援をいただいておりますが、セガサミーグループの皆さまには「七ヶ浜町生涯学習フェスティバル」に毎年多大なるご協賛を賜り、イベントを大いに盛り上げていただいております。復興に向けて歩み続ける私たちを、これからも見守り続けていただければ幸いです。

七ヶ浜町中央公民館 主幹兼管理指導係長
飯野 直樹 氏

グループ社員ボランティア活動

2013年度からは、仮設住宅内集会所での「お茶会」の企画や土壌整備をしてからの花壇造作等、被災地へ笑顔を届けるための様々な活動をお手伝いしています。
[2013年6月(第25回)～2014年7月(第35回)計11回、宮城県東松島市、南三陸町にて実施]

参加社員の声

株式会社セガ　第三研究開発本部　第二CS研究開発部
瀬上 純 (第27回2013年7月参加)

普段、交流の少ないグループ会社の皆さんと同じ目的で時間を共有できたことは有意義でした。一方で、数日間でできることの小ささも思い知らされた感もあります。しかし、関係者が話していた「微力は無力ではない」という言葉を胸に、小さいことでも、できることを少しでも重ねていきたいと思います。

株式会社セガネットワークス　アート＆デザイン部
中村 美帆 (第28回2013年7月参加)

職種、立場を超えて何かをするという経験はとても貴重ですし、こういう機会が増えれば、グループのまとまりや人材交流がさらにしやすくなるのではないかと思いました。復興段階によってボランティア活動の内容も変化する中、継続して活動する必要があると感じました。

サミー株式会社　営業本部 北関東支店 長野営業所
長末 一康 (第29回2013年10月参加)

耳に入ってくる話では、復興作業で人口も増え、盛り上がっているなどと良く聞きますが、震災の日から時間が止まったままの場所も多く、できるだけ多くの人々にこの体験を伝え、風化させていかないように継続的な支援の必要性を広めていくことが大事だと感じました。微力かもしれませんが、無力ではないはずです。

フェニックスリゾート株式会社　コンプライアンス総務部
小林 昭仁 (第33回2014年6月参加)

震災から3年以上が経過し、ボランティアのニーズは日々変化しています。現地の方々のお話によると、人との交流の場や、笑いや楽しみのある場づくりを提供していただけることが何より嬉しいとのことです。そうした中、セガサミーグループがこれまで培ってきた仕事によって、貢献できることにとても誇りを感じました。

ステークホルダーの声

東日本大震災から3年が過ぎ、現在は心のケアのソフト的な活動に切り替えていかなければならないステージに来ています。その中で、人材派遣やイベントへの参加、福祉施設への機材提供等、時宜にかなう支援を賜り深く感謝申し上げます。震災直後から国内外の温かいご支援に報いるためにも、町民が深い絆をもって一日も早い復興を目指して「踏ん張って」いきたいと思います。今後も南三陸町復興のため継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。『今日も笑顔で明日を目指し強い絆と心に感謝』

社会福祉法人
南三陸町 社会福祉協議会
猪又 隆弘 氏

2014年度新入社員研修

2013年度に続き、2014年度もグループ新入社員研修の一環として、社会に貢献する企業人を目指す人材育成の場として109名が参加し、宮城県の女川町の視察、そして東松島市でがれき撤去、花壇造作等の活動を行いました。

御礼の色紙

参加社員の声

株式会社セガ
石川 絹恵

あれほどのがれきが、月日をかけて土に埋もれたことに驚きました。がれきに交じり、アルバム等の思い出も埋まったままです。3月11日に起きた事実を風化させないことが、現地を訪れた私たちにできることだと思います。

サミー株式会社
大石 涼

当時、宮城県に住んでいました。震災前と比較すると、街並みは閑散としていて活気が足りませんでした。楽しいもの、面白いものを創り出すセガサミーグループが現地企業と協力して、現地の人も、他県の人も足を運びたくなる企画ができたらいいと思います。

タイヨーエレック株式会社
牟田 晃平

現地に足を運ぶことが一番の復興支援だと思います。現地の方との交流が生まれ、定期的に訪問することで、コミュニケーションは深まります。その中で、今自分にできるお手伝いは何か？を尋ねることで復興支援の一歩を感じ取れると思います。

株式会社サミーネットワークス
山口 達也

鉄筋むき出しで倒壊した小学校の校舎を見ると、津波の恐ろしさを肌で感じ胸が締めつけられる思いでした。三年経っても海側に進むにつれて、木材や陶器などが点在しており、まだ人手が必要な場所があることを知りました。

株式会社セガネットワークス
桑原 孝輔

「自分が無事で逃げ延びることが、避難者救援に出動する人の命を救うことになる」という現地の方の言葉に衝撃を受けました。エンタテインメント企業だからこそできる支援を継続的に行っていくことが大事だと思います。

新入社員研修同行者
サミー株式会社
鈴木 祐輝

この3日間は、新入社員が社会人としての第一歩を踏み出す上で、大変貴重な場となりました。企業が社会に対してできること、100名が力を合わせればこれだけの成果が出せるということ等、多くを学ばせていただきました。

セガサミーグループのCSR

セガサミーグループは、「私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。」というグループ経営理念のもと、①事業を通じた貢献 ②社会貢献 ③環境対応 ④コーポレート・ガバナンス／経済的責任の四つの観点から見た活動を通し、責任を果たすことで、社会からの様々な要請や期待に真摯に応え、ステークホルダーとのより良い関係を構築することでセガサミーらしいCSRの取り組みを進めてまいります。

>>> グループ経営理念

**私たちは、世界中のあらゆる人々に
夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、
豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。**

>>> グループCSR憲章

社会に生き続ける「企業市民」として、CSRの精神に鑑み、すべての法令・社会規範を遵守し、
ステークホルダーとのより良い関係を築くことで、
健全な経営の実現と社会的な責任を果たせるものと考えます。

>>> グループ行動規範

「グループCSR憲章」に基づく、社員の具体的な行動指針

目指す姿

企業グループと社会がともに持続する社会の実現

主なCSR活動のあゆみ

2004 セガ、サミーが経営統合し、セガサミーグループ誕生

2005 「グループ経営理念」、「グループCSR憲章」、「グループ行動規範」を制定

2006
- CSRハンドブック発行
- CSR推進項目、計画策定

2007
- CSRレポート創刊
- 環境ハンドブック発行
- コンプライアンスハンドブック発行

2009
- 社員向けCSRレポート創刊
- CSRの手引き（社員手帳冊子）発行
- 重要性測定（マテリアリティ分析）実施

2010
- NPOとのダイアログ実施
- グループ新任役員向けコンプライアンス研修導入

2011
- 被災地で社員ボランティア活動開始
- CSR有識者とのダイアログ実施

2012 グループ共通のCSR取り組みテーマを設定

2012
- 新入社員向け合同CSR研修導入
- 被災地復興支援応援イベント開始
- 都内・近郊に避難されてきた方々等を東京ジョイポリスへご招待

2013
- CSR推進方針を策定
- グループ新入社員による被災地ボランティア(研修)導入
- グループ役員向けコンプライアンス研修導入
- 個別トピックス研修導入

2014
- 国連グローバルコンパクトの署名
- 「グループ・マネジメントポリシー」並びに「グループ・ガイドライン」策定
- グループ会社マネジメント層向けCSR研修導入

これまでの取り組みと今後の展開

2004年の経営統合後、社員のベクトルを一つに合わせてグループ全体でCSR活動を推進するために、2005年に「グループ経営理念」「グループCSR憲章」「グループ行動規範」を制定し、全グループ社員へ理解・浸透を図ってきました。

2009年には重要性測定を実施して取り組むべき課題を抽出・整理し、その結果に基づいた目標を定めて重要課題の進捗管理を実行してきました。

2012年にはマテリアリティを見直し、グループ全体で取り組む4つのテーマを設定し、このテーマに沿って事業会社ごとに目標を定め、進捗管理を行っています。

2014年には社会の企業に対するコンプライアンス、内部統制の厳格化の要請に応え、業務等の分野ごとに「グループ・マネジメントポリシー」を策定するとともに、「グループ行動規範」についても、社会の変化に合わせて内容を見直しました。

今後も、社会適合性を一層強化するために、ISO26000などの国際規範を参考に、グループ各社と関連するサプライチェーンの取り組み状況の現状をレビューし、今後配慮すべきテーマや活動などの洗い出しを行い、当社グループのCSRの取り組みを深化させていきます。

CSR推進方針について

～社会から信頼され、尊敬される企業グループを目指して～

セガサミーグループの成長は、社会の発展とステークホルダーの皆さまとのかかわりの中で成り立っており、社会の一員としてCSR（社会的責任）を果たすことは当然のことと考えます。CSRとは特別なものでも難しいものでもなく、私たちが掲げるグループ経営理念を日々実践することであるといえます。

法令や社会規範に則り、安定的かつ適正な利益を創出し、納税・配当を行うことで、社会の持続的発展を支えていきます。但し、それで十分という訳ではなく、世界的視野での地球環境問題や人権問題等の社会課題に対して、また、私たちを取り巻く地域社会のために、良き「企業市民」としてプラスになることを積み上げていきます。

なお、2011年に起きた東日本大震災においては、多くのグループ社員がボランティアに積極的に参加し、復興段階では、被災地に勇気や元気をお届けするために様々なイベント等を実施する中で、エンタテインメント事業の存在意義を再認識するとともに、社員の成長を実感し、誇りに思っています。今後も、社会貢献だけでなく、事業や環境対応を通じ、様々な形で社会に貢献していきます。

1 事業を通じた貢献について

人は「衣、食、住」のみで生きていけるものではありません。人々が活力を持って生活するには、「遊び」や「楽しみ」といったエンタテインメントの力が不可欠です。私たちの存在意義であり、社会から期待されていることは、エンタテインメントを通じて、世界中のあらゆる人々に笑いや喜び、夢や感動をお届けし、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値をもたらすことです。安全で高品質な商品・サービスの提供はもとより、エンタテインメントを通じて社会課題の解決の一助となる商品やサービスを開発し、提供することを常に意識していきます。また、グループ企業のみならず関係する業界団体等とも積極的に連携・協力し、青少年の健全育成や適切な遊戯（遊技）環境づくりのための活動も推進していきます。

2 社会貢献について

良き「企業市民」として、グループ全体としてはもちろん、グループ各社、各事業所等において、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、社会への貢献を進めていきます。また、こうした活動を通じて、社員一人ひとりの成長とグループとして強くなるためのベクトル合わせにもつなげていきます。

3 環境対応について

気候変動や資源の枯渇、貧困など様々な問題が地球規模で起きています。企業が事業活動を行うことで、環境に何らかの影響を与えることは避けられません。汚染予防、廃棄物処理等に関する法令等の遵守に留まらず、グループとして、個人としてできることはたくさんあります。省エネやリサイクル、消耗品使用の削減等、環境のためにプラスになることは何か、何ができるかを社員一人ひとりが考え、行動していきます。

4 コーポレート・ガバナンスについて

コンプライアンスやリスク管理を含めたコーポレート・ガバナンスを徹底することは極めて重要です。経営理念の浸透、コンプライアンス意識の醸成、法令遵守体制や内部統制システムの強化等を行い、企業経営の健全性確保、透明性向上、効率性向上を行います。

また、社員一人ひとりが創造性とチャレンジ精神を発揮できる企業文化をつくるため、健全な職場環境づくりと人権の尊重と差別の禁止を徹底します。あわせて、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨する良きパートナーとして良好な関係を構築していきます。

5 経済的責任について

グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元、適時的確な情報開示を通し、経営の透明性を図り、株主・社会の期待に応えます。

私たちはこれからも、グループの成長のみならず、日本経済全体の活性化や世界の持続可能な成長に貢献するために、新たな領域に積極的に挑戦し、力強く成長し続けます。

一方、当社グループが提供するサービスや事業規模の拡大に伴い、ステークホルダーや社会に与える影響力が大きくなることも認識しなければなりません。私たちは、こうした状況や責任をしっかりと自覚し、セガサミーグループらしいCSRを実践することで、社会から信頼され、尊敬される企業グループを目指します。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
里見 治

里見会長とグループ社員による意見交換会

セガサミーグループでは、各現場の活動成果や課題等を共有し、今後のCSR活動の方向性について議論することを目的に、里見会長とグループ社員の意見交換会を実施しています。これまでも、グループ各社のCSR推進担当者や、東日本大震災復興支援活動に参加した社員が同席しました。今回は、グループ各社が注力するプロジェクトの責任者や人事責任者等が同席し、活発な意見交換が行われました。

意見交換会は、CSR推進方針を改めて共有する貴重な場となっています

参加者：
［後列左から］
株式会社サミーネットワークス　777タウン事業本部　企画運営部　東 幸忠
株式会社セガネットワークス　編成局　第2プロダクション　長瀬 健裕
株式会社セガ　第三研究開発本部　第三CS研究開発部　下里 陽一
サミー株式会社　研究開発本部　PS第二セクション　沢田 智
［前列左から］
株式会社トムス・エンタテインメント　管理本部　人事部　荒居 知香子
セガサミーホールディングス株式会社　代表取締役会長兼社長　里見 治
セガサミーホールディングス株式会社　グループCSR推進室　北條 はるみ

2013年度の目標と進捗・実績／2014年度の目標について

セガサミーグループの取り組み

項目	2013年度の課題	進捗・実績	主な掲載ページ	2014年度の課題
事業を通じた貢献	安心、安全で楽しい製品・サービスの提供	●対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【セガ、サミー、セガトイズ、SE】 ●お客さまサポート体制の充実【セガ、サミー、セガトイズ】 ●正確で適切な製品表示【セガ、サミー、セガトイズ】 ●業界団体基準等に準拠した安全基準【セガ、サミー、セガトイズ、SE】 ●地域警察・商店街等と連携した見回り、青少年保護対策【SE（AM施設）】 ●未成年による飲酒防止の施策【SE（Bee）】 ●業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【サミー】 ●不正防止対策【サミー】	P.11-12, 26-33	• 製品やサービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示の継続 • サポート体制のさらなる充実 • 正確で適切な製品表示の推進 • 業界団体基準等に準拠した安全基準の遵守の継続 • 不正防止対策の継続
	グループコンテンツを活かした社会課題解決への貢献	●小児医療（歯科）の発展に貢献する支援端末『スマイルタッチ デンタル』の開発と普及【TMS】 ●ショールームを定期的に高齢者へ開放（18回、111名）【サミー】 ●NPOとの協働で玩具を寄贈【HD、セガトイズ】 ●コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催（8回）【HD、セガ、サミー、セガトイズ、TMS、SE、SLS、ダーツライブ】 ●「HOMESTAR」による睡眠の質の向上【セガトイズ】 ●「ドライビングシミュレータ」による交通事故防止の教育に貢献【SLS】	P.13,15, 32,33, 53,55	• 対象拡大などの推進
社会貢献	地域社会への貢献活動、業界活動等	●野球部による野球教室の開催【HD】 ●県内外からのインターンシップの受け入れ【PSR】 ●ピンクリボン運動への寄付【サミー、セガサミーゴルフ】 ●地域スポーツ活動への協賛【HD、サミー】	P.53-55, 57	• 事業の延長線上での社会貢献の実行
	グループ全体での貢献活動（東日本大震災復興支援等）	●グループ社員ボランティアを被災地へ派遣（11回、のべ105名）【グループ】 ●コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催（11回）【HD、セガ、サミー、セガトイズ、TMS、SE、SLS、ダーツライブ】 ●チャリティゴルフコンペによる東日本大震災等への寄付【サミー、セガサミーゴルフ】 ●第13回 東京JAZZなど芸術活動への協賛【HD】 ●絵本を届ける運動（220冊）（発展途上国のエンタテインメント環境整備）【グループ】	P.15,16, 53-54, 56-57	• 復興支援の継続と新たなステージへの対応 • グループシナジーを活かした社会貢献の実行
環境対応	3R推進、環境配慮型製品等の事業関連の環境対応	●低消費電力製品の開発・提供点数が増加【セガ】 ●エコパチンコの開発、製品化への展開【サミー】 ●下取機リサイクル（96.58%達成）【サミー】 ●廃棄物有価リサイクル（川越工場勤務者による分別活動）の実施【サミー】 ●AM機器の手分解による100%リサイクルを実施【SLS】 ●年次サプライヤーミーティングでの環境規制等の情報を配信【セガ】	P.47-51	• 3R（特にリサイクル）の推進 • 環境配慮型製品開発・発売の推進 • その他環境保全活動の推進
	地球資源等への配慮活動	●グリーン電力証書の購入（100万kWh実績／年）【セガ】 ●直轄子会社7社の数値把握体制の整備【HD】 ●森林里親契約「セガの森」整備によるCO_2吸収量が長野県から評価【セガ】 ●複合機の入替え等による紙資源の削減【HD、セガ、サミー】 ●シーガイア敷地内の黒松（250万㎡）の管理・保護・育成【PSR】 ●石油系燃料から天然ガスへの転換による環境負荷軽減【PSR】 ●カーボン・オフセット認証取得事業に選定【オアシスパーク】	P.14, 47-51,56	• 環境施策の推進
コーポレート・ガバナンス	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透	●グループマネジメント層向けCSR研修の実施（10回、9社、300名）【HD】 ●「グループ・マネジメントポリシー」並びに「グループ・ガイドライン」策定【HD】 ●グループ経営理念をグループイントラネットに掲示し、グループ社員が常時閲覧可能な体制を整備し、また、「CSR項目」としてグループ経営理念などを社員手帳冊子に掲載、常時携行可能とし、社員啓発を促進【グループ】 ●経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信（年3回）【グループ】	P.22	• 経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透
	コンプライアンス研修の実施等	●グループ新任役員向けコンプライアンス研修（1回、28名） ●グループ役員コンプライアンス研修会（5回、20社、116名） ●グループ役員向け個別トピックスセミナー（1回、29社、138名） ●新入社員向けコンプライアンス研修の実施【HD、セガ、サミー】 ●階層別各種研修の実施【グループ】 ●企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築【グループ】	P.24	• CSR活動浸透のための研修 • コーポレート・ガバナンスの強化
	CSR情報の共有化	●社会の動静を察知し、リスク感度を高める目的でグループ会社のCSR担当者向け情報媒体（新聞・雑誌等）を通したCSR情報の収集とグループ各社への提供（毎月2回）【HD】	—	• CSR情報共有化の推進

※活動を実施する主要会社を【】内に記載しています。なお、会社名表記について、以下の会社は略称で記載しています。
HD：セガサミーホールディングス（株）、TMS：（株）トムス・エンタテインメント、SE：（株）セガ エンタテインメント、
セガサミーゴルフ：セガサミーゴルフエンタテインメント（株）、SLS：（株）セガ・ロジスティクスサービス、PSR：フェニックスリゾート（株）

CSRの推進

CSR推進体制

セガサミーグループでは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造とステークホルダーの持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉え、当社グループのCSR活動に関して連絡・調整を行う機関として、ホールディングスにグループCSR連絡会議を設置しています。

また、CSR活動を着実に推進するために、ホールディングスにグループCSR推進室を設け、グループのCSR活動を統括・管理しています。なお、グループ会社のCSR事務局メンバーが出席するグループCSR事務局会議では、具体的なCSR活動に関する施策の検討・実施・評価（PDCAサイクル）等を行っています。

セガサミーグループCSR推進体制図

CSRの浸透・意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げる「グループ経営理念」を実現できると考えています。ホールディングスのグループCSR推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

全事業所にCSRポスターを掲示しています

CSRの手引きやCSRレポートのダイジェスト版を全社員に配付しています

Topics | グループ企業マネジメント層向けCSR研修の実施

セガサミーグループでは、2013年10月から、グループ企業のマネジメント層を対象にCSR研修を実施しました（9社、10回、300名受講）。社会の変化同様にエンタテインメント業界を取り巻く事業環境の変化を感じ取り、社会と企業が共生していく、企業が持続的成長・発展をしていくためには、いかに取り組んでいくべきかを、外部講師をお招きし、講義やグループワークを通して、理解とコミュニケーションを深めました。

終了時には、受講者全員が「My部署宣言」を提出し、セガサミーグループの一員としての存在意義を、改めて考える機会を設けました。今後も〝社会から期待され、信頼され、尊敬される企業、そして社員が誇れるグループ企業になるために自分たちは何をすればよいのか？〟を社員一人ひとりが意識し、考えて行動できるように、研修を継続してまいります。

［受講者の声］

「社内研修からグループ内研修とし、別会社も交えてディスカッションをしてみたい」

「CSR＝社会貢献のイメージが強く、その考えは変えられた」

「CSR＝会社事業そのものでした」

「本業での社会課題解決という視点が参考になりました」

「当社にとって、本業での社会課題解決、CSRを考えることは非常に重要なことだと思いました」

「CSRの理解と同時に、部門を超えたコミュニケーションをとる良い機会となった」

ステークホルダーの声

グループCSR研修で講師を務めさせていただきました。グループ企業のマネジメント層を対象に、セガサミーグループにとってのCSRとは何か、という根源的な問いを深く考える研修内容が特徴です。この本質的な問いを通して、参加者のCSRへの考え方についてベクトルをあわせるとともに、多様な価値観を相互に話し合うことで、「グループ経営理念」を浸透させる点でも大きな成果がありました。今後は、この研修内容を活かして、小さくとも「本業での社会課題解決」の象徴的な事例を作っていくことを期待します。

株式会社クレイグ・コンサルティング
代表取締役
小河 光生 氏

コーポレート・ガバナンス

セガサミーグループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置づけ、持続可能な企業価値創造にとって不可欠なことだと考えています。

コーポレート･ガバナンスの基本的な考え方

セガサミーグループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置づけ、企業経営の「効率性の向上」、「健全性の確保」、「透明性の向上」を「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」として掲げ、取締役候補者の選任、取締役報酬の決定、経営の監視、監査報酬の決定等、経営の重要な問題をこの方針に従い判断しています。

■効率性の向上
迅速かつ適正な意思決定プロセスの確立および企業経営の効率性を向上させることで企業価値の最大化を目指し、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーに対して、その利益の還元に努めます。

■健全性の確保
激しく変化する事業環境の中、企業価値の最大化を図るため、当社を取り巻く様々なリスクを適切に認識・管理するとともに、法令を含む倫理・社会規範等およびその背後にある社会的価値やその変化を捉えて的確に対処する体制（コンプライアンス体制）を確立することで経営の健全性の確保を図ります。

■透明性の向上
企業に対して情報開示の重要性が高まる中、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーに対して説明責任を果たすとともに、積極的なIR活動を行うことでディスクロージャーをさらに充実させ、経営の透明性の向上を図ります。

コーポレート･ガバナンス体制

セガサミーグループは、激しく変化する経営環境の中では、業界・市場動向・製品・商品・サービス等に関する知識や経験等に富んだ取締役が迅速かつ最適な経営判断を導き出すと考え、監査役設置会社形態を採用し、あわせて社外取締役の選任、執行役員制度と内部監査体制の強化を行い、運営と管理の両面からコーポレート・ガバナンス体制を充実させています。

取締役会は9名（うち2名が社外取締役）の取締役で構成され、毎月1度の定時取締役会並びに適宜開催する臨時取締役会において機動的経営を図っています。監査役会は、毎月1度の定時監査役会並びに適宜開催する臨時監査役会において、現在4名（うち3名が社外監査役）の監査役により議論を行い、具体的問題について十分に分析、検討しています。

そのほか、グループ役員連絡会、グループ監査役連絡会等、下記模式図の体制により各種施策を実施しています。

グループガバナンスの強化と内部統制システムの整備

セガサミーグループでは、グループガバナンス体制の整備と強化を図るため、グループ内部統制連絡会議、グループCSR連絡会議およびグループ・コンプライアンス連絡会議の3つの機関並びにそれらを支える専門部署を設置し、グループ経営にかかわる内部統制構築上の問題点、進捗等について審議・確認し、その維持・向上に取り組んでいます。

また、当社グループでは、企業集団として金融商品取引法に定められた「財務報告に係る内部統制の評価及び監査」制度（いわゆる日本版SOX法）が求める内部統制システムの評価・報告の仕組みを整備し、また評価によって発見した不備の改善を進めてきました。今後も、財務報告の信頼性を継続的に確保するとともに、効率性の向上と健全性の確保も視野に入れ、内部統制システムの維持と構築に取り組んでいきます。

さらに、当社グループでは社会の企業に対するコンプライアンス、内部統制の厳格化の要請に応え、業務等の分野ごとに「グループ・マネジメントポリシー」を整備するとともに、「グループ行動規範」についても、社会の変化に合わせて内容を見直しました。

Web ●コーポレート･ガバナンスに関する報告書
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/governance/

コーポレート・ガバナンス体制に関する模式図
（2014年6月30日現在）

コンプライアンス・リスク管理

セガサミーグループは、「グループ行動規範及びグループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを意識し適切な行動を可能とするために様々な取り組みを行っています。また、経営の内外に潜在する重要な損失リスクを洗い出し、対処すべき課題を明確化して、会社の事業遂行並びに経営資源の損失低減、再発防止に取り組んでいます。

コンプライアンス推進体制

セガサミーグループでは、「グループ・コンプライアンス連絡会議」のもと、法令や社会規範に則って健全な企業経営を展開するための社内体制を構築しています。

2013年度は、2011年度に立ち上げた「コンプライアンス推進運動」を継続して実施し、業務の適正を確保するための「内部通報制度の再周知」など、グループ全体での取り組みおよび展開を図りました。

コンプライアンス意識の醸成と浸透

セガサミーグループでは、コンプライアンス意識の醸成と浸透を図るために、グループ各社向けの研修を適宜実施するほか、日常遭遇しそうな出来事を想定した具体例を分かりやすく編集したコンプライアンスハンドブックを全社員が適時閲覧できるイントラネットに掲載しています。また、漫画を使用した親しみやすい記事を掲載して社員への浸透に努めました。

今後も、グループ各社の先進事例を他のグループ会社に水平展開することでシナジー効果を生み出し、グループ・マネジメントポリシーの浸透を図りながら、コンプライアンスレベルの維持・向上に努めます。

2013年度のコンプライアンス研修の実施実績（グループ各社）

種類	対象	会社名	回数	人数（のべ）
グループ役員向けコンプライアンス研修	国内グループ会社役員、監査役、執行役員	HD、セガ、サミーほか	6	144
新入社員研修	新入社員	HD、セガ、サミーほか	7	152
下請法研修	全社員、グループ子会社全社員、制作本部社員、営業本部社員	セガ、SNW、セガトイズ、TMS	28	504
各種コンプライアンス研修	管理職者（課長以上の管理職但し、取締役、監査役を除く）、階層別社員	セガ、サミーほか	25	1,504
個別テーマ研修（法務・契約・知財・情報セキュリティ・個人情報保護法ほか）	グループ会社役員、全社員	セガ、サミーほか	31	695
食品衛生研修	全社員	PSR	4	784

※会社名表記について、以下の会社は略称で記載しています。
HD：セガサミーホールディングス（株）、SNW：（株）サミーネットワークス、TMS：（株）トムス・エンタテインメント、PSR：フェニックスリゾート（株）

内部通報制度

「グループCSR憲章」の精神に則って、グループ内・社内での自浄機能を作用させ、また法令違反ないし不正行為等による不祥事の発生を防止するため、内部通報に関する制度（内部通報制度）を制定しています。グループ各社および社外の法律事務所に通報窓口を設置するとともに、通報事項に関する事実関係の調査、是正措置、再発防止策の実施、通報者の保護制度を設けています。

内部通報は不正発見の第一の手段として重要性が高まっており、同制度の実効性の向上に取り組み、社員にとって利用しやすく、信頼に足る制度として全面改定しています。

下請法遵守体制の強化

セガサミーグループでは、下請代金支払遅延等防止法（下請法）遵守体制の一層の強化を図るため、内部監査を定期的に実施するとともに、法務部門による各部門への教育・指導等を実施しています。また、内部監査部門の働きかけにより各部門による自己点検を継続して実施し、結果を内部監査部門・法務部門・内部統制部門にて共有することで遵守体制の強化に努めています。

インサイダー取引防止への取り組み

ホールディングスでは、役員および社員によるインサイダー取引防止のため、セガサミーグループIR/広報に関する方針のもと、「セガサミーグループインサイダー取引防止規程」を制定しています。法令が定める売買規制に関する事項を記載し、あわせて役員、社員による自社株式等の売買について事前の届出義務を定めることにより、インサイダー取引発生の未然防止に努めています。また、イントラネット等によりインサイダー取引規制に関する啓発活動を行う等、役員および社員の意識が高まるよう、各種施策を実施しています。

2011年度からは、日本証券業協会のJ-IRISSに当社役員情報を登録し、不測の事故や意図しない不公正取引等、金融商品取引等による法令違反の未然防止を図っています。

腐敗防止、寄付金等の適正処理

セガサミーグループでは、「グループ行動規範」において、(1) 贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと、(2) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に基づき定めた社内ルールを遵守して、公明正大に行うべきことを明記するとともに、「グループ海外贈収賄禁止に関する方針」を定め、近年の海外贈収賄規制の厳格化という国際的な潮流に対応しています。

安全保障貿易管理

事業を国際展開しているセガでは、外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づき、国際社会の平和・安全の維持を目的として専任部門を設け、貿易管理に取り組んでいます。

セガの提供するゲームソフト、ゲーム機、インターネット配信等の技術は一般向けとはいえ、高度な技術が含まれていることから輸出が規制される場合があります。

会社規程の整備や社員向け研修の実施、イントラネットでの情報提供等により、輸出に携わる社員一人ひとりの理解の促進と意識を高め、法令違反を未然に防止するとともに、内部監査、監査結果による改善策を実施することで、適正な貿易管理体制を維持しています。

また、輸出を行うすべての企業に適用される「輸出者等遵守基準」に対応し、輸出実績のあるセガグループ各社についても実態に即した貿易管理体制を構築、維持しています。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその整備状況について

セガサミーグループは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対し断固とした姿勢で臨み、反社会的勢力からの接触を受けた時は、適宜に警察・弁護士等を含め外部機関と連携して組織的に対処します。

なお、グループ行動規範では、「反社会的勢力・団体・個人からの不当な要求に対しては、毅然とした態度で対応し、利益の供与を行わないだけでなく、一切の関係を排除する」ことを宣言しています。

知的財産に関する基本方針

セガサミーグループは、知的財産を企業競争力を高めるための重要な要素、かつ企業経営を支える重要な経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。

セガでは、各部門に知的財産推進委員を置くほか、各プロジェクトの現場責任者や担当者を対象として広く知財意識の啓発・普及活動を行っています。これにより、第三者の知的財産権を侵害することが無いように努めるとともに自社の知的財産権を適切に管理し、事業の保護・拡大を図っています。また、セガブランドの維持・向上のために模倣品対策等も実施しています。

サミーでは、研究開発のフェーズごとに技術調査等を実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また、知財研修の開催や社内イントラネットにおいて知的財産にかかわる様々な情報を掲載し、社員の意識啓発に努めています。

災害発生時の緊急対策

セガサミーグループでは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」のもと、会社規程として「危機管理規程」を制定し、事業活動に潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努めるとともに、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。

また、2013年1月に「首都直下地震における帰宅困難者対策のセガサミーグループ基本方針」を策定し、規定された「備蓄品」、「建物設備の安全」、「安否確認」、「帰宅ルール」について、グループ各社ごとに手配・構築・実施し、イントラネット等を通して全社員への周知を図っています。

情報セキュリティの強化

セガサミーグループでは、お客さまの情報をはじめ、経営情報や営業情報等すべての情報を重要な財産と捉え「グループ情報管理に関する方針」「グループITセキュリティに関する方針」及び「グループ個人情報保護に関する方針」並びに「情報管理規程」において、企業秘密やその他情報の適正な取り扱いと管理方法を定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合う等、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。

個人情報の保護

セガサミーグループでは、「グループ個人情報保護に関する方針」のもと、各社にて「プライバシーポリシー」を定め、お客さまからお預かりした情報を適切に管理する体制を整えるとともに、お客さまの個人情報への不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩等を防止する適切な対策を講じています。今後も社員への教育・啓発、内部監査を通じた改善を実施し、個人情報の適切かつ安全な取り扱いに努めます。

Topics | 情報管理体制の強化

サミーでは、社内情報資産を適切に管理するために、情報管理体制を強化しています。2013年度は、社長を委員長とする情報管理委員会を新設し、守るべき情報資産の定義を改めて設定、ガイドラインを策定し、運用方法を決定しました。また、情報漏えい防止のための具体策として、クリアデスクや施錠管理、メール添付ファイルの暗号化等の施策も改めて徹底しました。運用においては、内部統制室が全部門の運用状況を月に１回監査し、PDCAサイクルにより推進しています。今後は、e-ラーニング等の社員教育を充実させていきます。

お客さまとともに

With Customers

CSR憲章

私たちは、いつの時代においても、お客さまとともに歩みながら、
夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し続けます。

セガサミーグループのアプローチ

人は「衣、食、住」のみで生きていけるものではありません。人々が活力を持って生活するには、「遊び」や「楽しみ」といったエンタテインメントの力が不可欠です。セガサミーグループの存在意義であり、社会から期待されていることは、エンタテインメントを通じて、世界中のあらゆる人々に笑いや喜び、夢や感動をお届けし、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値をもたらすことです。安心・安全で高品質な製品やサービスの提供はもとより、エンタテインメントを通じて社会課題の解決の一助となる製品やサービスを開発・提供します。また、グループ企業のみならず関係する業界団体等とも積極的に連携・協力し、青少年の健全育成や適切な遊戯（遊技）環境づくりのための活動も推進します。

1 安心・安全かつ高品質な製品やサービスの提供

セガサミーグループでは、製品やサービスを提供する各国・地域、業界の特性に応じた最適な品質保証体制をグループ各社がそれぞれ構築し、開発から生産、販売、サービスにいたる全プロセスにおいて、品質の維持・向上に努めています。特に製品の安全性については、各種法令や業界が定める基準はもとより、グループ各社が定める自主基準に基づき、徹底した安全管理を行っています。

なお、製品やサービスが起因となる品質問題が万が一発生した場合は、その規模や種類に応じて、確実で迅速な対応とあわせて適宜情報を開示するとともに、恒久的に再発を防止するための体制強化を図ることとしています。

2 お客さま満足の追求

お客さまの満足度を高めるためには、何よりもお客さまのニーズや市場の変化を的確・迅速に把握し、製品開発やサービスの向上に活かしていくことが重要です。セガサミーグループでは、それぞれの事業や業界の特性に合わせた手法でお客さまの声やご要望を伺う仕組みを整えるとともに、マーケティング調査等から得られた情報も活かした製品づくりやサービスの提供に努めています。

『ヒーローバンク』

担当者の声

本当に面白い、スマートフォンのためのRPGをお客さまに

1回のプレイ時間が短いスマートフォン向けゲームでも、ロールプレイングゲーム（以下、RPG）の面白さを存分に味わって欲しい。これが『チェインクロニクル』開発プロジェクトのはじまりでした。特にこだわった点は大きく3つあります。1つ目は、物語に沿ってバトルをして、冒険の舞台が広がっていくというRPG本来の面白さを、約5分間に集約させたところです。ここには同じくプレイ時間が短いアミューズメントゲームのノウハウを活かしています。2つ目は、タッチパネルでプレイするスマートフォンならではの爽快感。そして3つ目は、キャラクターたちが織り成す絆の物語を表現することで、単なるカードではない「仲間」としてキャラクターに愛着を持っていただくこと。この3つの要素によって、これまでのスマートフォンゲームにはなかった王道RPGとして、たくさんのお客さまに楽しんでいただくことができました。今後はさらに物語の面白さやゲームシステムを充実させていきます。ご期待ください。

株式会社セガ
第一研究開発本部 MOBILE WORKSチーム
松永 純

お客さま満足の追求

セガならではの遊びを創造

社是「創造は生命（いのち）」の精神のもと、セガならではの革新的な「遊び」をお届けすることがお客さま満足の向上につながると考え、日々製品開発を行っています。

2013年度は、アミューズメント機器業界では初となる基本プレイ無料（一部課金あり）の『ぷよぷよ!!クエスト アーケード』の稼働を開始したほか、アミューズメント施設事業においても、世界初の大自然超体感ミュージアム『Orbi Yokohama（オービィ横浜）』をオープンするなど、エンタテインメントの新しい領域に積極的にチャレンジしました。コンシューマゲームにおいては、『ヒーローバンク』『チェインクロニクル』など新しいIPを生み出し、お客さまから高い評価をいただいています。

2014年7月、さらにパワーアップした『Orbi Yokohama（オービィ横浜）』

お客さまのニーズの把握と反映

お客さま満足度の向上を実現するためには、多様化するニーズを的確かつ迅速に把握し、製品開発やサービスに活かしていくことが重要です。セガでは開発・マーケティング・販売の各部門が密に連携し、マーケティングリサーチ機能を強化しています。また、お客さまと直接対面する展示会や店頭イベント等では、製品の魅力を伝えるために、お客さまの層や趣向に合わせたプロモーションを展開するとともに、お客さまの声を製品開発に活かすためのアンケート等を積極的に行っています。

担当者の声

お客さまと一緒に育てていきます

2002年から稼働している『WORLD CLUB Champion Football』（以下、WCCF）は、欧州各国クラブの有名サッカー選手が多数登場するスポーツカードゲームです。

WCCFではプロモーションと開発が密に連携し、SEGA IDを起点としたお客さまの嗜好 やアンケート調査の結果等のデータ群を分析することで、お客さまの潜在的なニーズを捉えてゲームにフィードバックしています。こうしてお客さまと一緒に育ててきたからこそ、WCCFは現在も続くシリーズとしてご好評いただいております。今後もお客さまの声を活かし、WCCFならではの面白さを追求していきたいと思います。

株式会社セガ
AM戦略本部 AMプロモーション部
小清水 純（左）

株式会社セガ
第一研究開発本部 AM R&E研究開発部
柏田 知大（右）

セガのサービスをもっと楽しく便利に

セガが提供する様々なサービスを一つの専用IDで簡単に、より楽しく便利にご利用いただくために、登録無料の「SEGA ID」というサービスを提供しています。登録いただくと、PCオンラインゲームの利用はもちろん、Aime（アイミー）サービスサイトの利用やアーケードタイトルと連動した様々なサービスの利用、「SEGA ID」ユーザー限定のイベントやキャンペーンへの参加・応募等を行うことができます。また、2013年12月には、「SEGA ID」を活用し、新しいコミュニティサービスとして『it-tells（いってる）』を開設しました。これにより、お客さま同士が趣味や関心を語り合い、またセガとお客さまが双方向でコミュニケーションを図ることで、様々な共創ができる場所を目指しています。今後もお客さまの声を活かしながら様々なサービスを展開していきます。

コミュニティサイト『it-tells（いってる）』

製品やサービスの安全と品質保証

品質保証体制の強化

独立した品質保証部のもと、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理する体制を強化しています。特に製品の安全性については、当社が定める自主基準並びに業界団体（JAMMA※）のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、海外においても、現地に合った品質保証体制を構築しています。

※JAMMA：一般社団法人日本アミューズメントマシン協会

品質問題発生時の対応と情報開示

製品やサービスが起因となる品質問題が発生した場合は、その規模や種類に応じて、確実で迅速な対応を行うともに、恒久的に再発を防止するための体制強化も図っています。情報開示については、ダイレクトメールや業界紙等を通じて速やかに行い、必要に応じて専用窓口を設置する等して、アミューズメント施設運営事業者さま、ユーザーさまの不利益を最小限に抑えるよう努めています。

お客さまサポート体制の充実

お客さまから寄せられる様々な声に総合的に対応するため、ユーザーサポート窓口を設置するとともに、お客さまの声を社内各部署に届ける専門の部隊（Voice of Customer）を設け、製品およびサービス品質の向上につなげています。アフターサービスにおいては、保守・補修・パーツ提供や物流機能を担うセガ・ロジスティクスサービスと社内対応部門が品質問題の傾向分析や改善策を討議し、開発・生産・販売へ報告することで、改善を図っています。

製品やサービスの表示とラベリング

製品パッケージや取扱説明書をはじめとしたツールは、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制（PL法等）や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本国内においては、CERO※が制定するレーティング制度に基づく対象年齢表示に加え、当社が独自で設定している自主基準も表示しています。

※CERO：特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構

CEROのレーティング制度に基づく対象年齢表示と当社独自の自主基準の表示

お客さまの声にお応えする仕組み・体制

PSO2アップデート不具合の発生と再発防止について

2013年9月4日に、Windows PC版『ファンタシースターオンライン2』にて特定時間帯にアップデートを行ったお客さまのハードディスク内データが一部削除されるという不具合が発生いたしました。本件につきましては、ただちに情報を公開するとともに、不具合を修正。影響を受けたお客さまの専用窓口を設置して対応を行いました。

また、再発防止の対策といたしまして、開発及びチェック体制の強化を行い、安全を第一とした運営を行っております。引き続き、お客さまが安心してセガの製品やサービスをお楽しみいただけるよう尽力してまいります。

Sammy
—サミーの取り組み—

お客さま満足の追求

魅力溢れる製品を提供するための体制整備

ユーザーの皆さまに魅力溢れる製品を提供することが最大の使命であり、それがホールの皆さまの満足にもつながるという考えのもと、開発・営業・生産部門の連携を強化しています。特に開発段階では、ゲートごとに設けた厳しい基準のもと、妥協を許さずに幾度もつくり込みを重ね、マーケットの視点を取り入れた必然性あるヒット製品の開発を追求しています。

製品の生産・供給体制においては、発売初期段階に集中する傾向がある遊技機の需要に的確に応えるために、2012年に新工場を新設し生産能力を増強しました。また、新工場の隣接地には物流センターも新設し、保管能力の拡張・在庫管理の集約による生産流通体制の効率化を図りました。

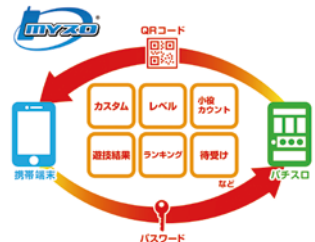
2012年9月より稼働している新工場

市場ニーズやお客さまの声を活かしたものづくり

すべては、遊びを通じてお客さまに夢と感動を届けたい。それが、独創性と先見性で数々のヒット機を創出してきた開発チームのプライドです。

企画・開発段階の早期から多様化する市場環境やニーズを的確に捉えたマーケット・インの手法を強化しています。ユーザーの皆さまに対しては、グループインタビューや商品評価アンケート等を実施し、ホールの皆さまについては、積極的なコミュニケーションとともに定期的な「ホールさま向けアンケート」を実施し、ニーズを迅速に捉えています。

新しいサービスの開発

より多くの皆さまに楽しんでいただける新しいサービスの開発にも取り組んでおり、携帯サイトとパチスロが連携したサービスの『マイスロ』はその一つです。サービス開始からコンテンツを継続的に充実させ、5年目を迎えた現在では登録会員数189万人（2014年3月31日時点）となり、多くのユーザーの皆さまに支持をいただいています。

Topics｜「パチンコ・パチスロAWARD 2013」でMVPを受賞

2012年11月から2013年10月の間に発売されたパチンコ・パチスロ機の中から、人気やゲーム性が優れている機種を決定する「パチンコ・パチスロAWARD 2013」※において、パチンコ部門のMVPに『ぱちんこCR北斗の拳5覇者』、パチスロ部門のMVPに『パチスロ北斗の拳 転生の章』が選出されました。また、メーカー関係者の視点で評価された機種に贈られるメーカー特別賞にも両機種が選出されるなど、多くのファンや業界から高い評価をいただきました。

※パチンコ・パチスロAWARD 2013：パチンコ・パチスロ専門のWEB媒体4社、「777@nifty」「Pachinko Village」「Pachinko Vista」「パチンコ倶楽部」の共催企画で、MVPは読者投票や各WEB媒体の編集部票などから総合的に選出されます。

ぱちんこCR北斗の拳5覇者

担当者の声　自信を持って面白いと言える、ぶれないものづくりが大切

どんな遊びがあったら楽しいか、本当に面白いモノとは何かをとにかく考え、それをパチスロという枠の中でいかに表現できるかにこだわりを持って開発に臨んでいます。企画中は、常に頭の中で遊技中の様々な状況を思い描き、ここは何が楽しいのか、どこが面白いのかをシミュレートしています。ここだと思ったポイントでは、脳に感じる気持ち良さともいうべき、ドキドキ・ワクワク感をさらにグッと面白くするための音や演出等を加えていきます。時には、余分なものを排除してシンプルに仕立てるなど、メリハリやバランスをうまく融合させつつも、企画の基本軸は決してぶれることのないものづくりを大切にしています。これからも誰も思いもつかないような"新たな遊びを創造すること"でお客さまの期待に応え、さらには市場の活性化、業界の発展にも貢献していきたいと思います。

サミー株式会社
研究開発本部 PS第二セクション
沢田 智

パチスロ北斗の拳 転生の章　

お客さま専用サイト『Sammy Plus』オープン

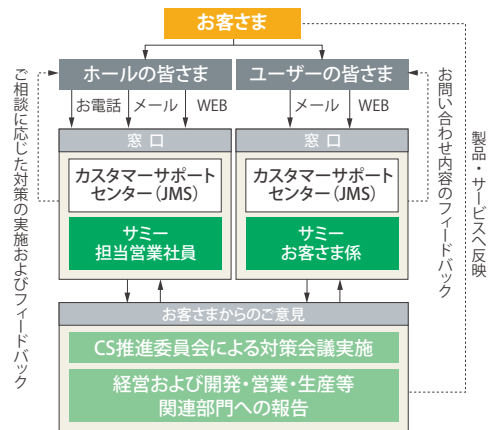
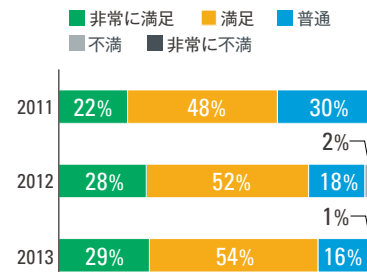
ホールの皆さまへ有用な情報をタイムリーにお届けするために、新たにお客さま専用サイト『Sammy Plus（サミープラス）』をオープンしました（2014年4月1日より）。本サイトでは、オンラインで新機種情報や製品のカスタマーサポート情報、故障相談など、総合的なサービスをご提供しており、スマートフォンへの対応をはじめ、ご要望をお寄せいただいたお客さまご自身による登録情報の変更といった新機能を追加するなど、さらなる利便性の向上を図りました。今後も新サービスを随時追加して、機能を拡充していく予定です。

お客さま専用サイト『Sammy Plus（サミープラス）』

お客さま対応の充実

お客さまから寄せられる様々な声に対応するためにカスタマーサポートセンターを設置し、グループ会社の日本マルチメディアサービス（JMS）と連携し、迅速かつ丁寧な対応を行っています。ホールの皆さまへの対応としては、2005年12月に他社に先駆けて平日のみならず、土日・祝日のサポート体制を構築し、サービスを行っています。2012年4月からは、サミーグループ4社（サミー、タイヨーエレック、ロデオ、銀座）の窓口を一本化し、ホールの皆さまの利便性向上を図りました。

また、2012年度からは、CS向上プロジェクトを立ち上げ、応答率の維持・向上やオペレーター教育研修、故障内容分析等の分科会を設け、継続的にお客さま満足度のさらなる向上に努めています。こうした活動を着実に積み重ねてきた結果、ホールの皆さまを対象とした満足度調査では、年々向上しています。今後もアフターサービスレベルの向上はもとより、お客さまのご意見を開発にも積極的に活かしていきます。

お客さまの声にお応えする仕組み・体制

カスタマーサポートセンターの利用に関する満足度調査の結果

製品やサービスの安全と品質保証

製品の安全・品質保証と品質問題発生時の対応

積極的な創意工夫と改善を効果的に行う品質保証活動によりお客さまの満足を得るという考えのもと、安全で良質な製品やサービスの提供を徹底しています。開発・設計段階では、部品やユニットの動作・耐久性など、様々な角度から評価試験を繰り返すことで、製品の信頼性向上を図っています。生産段階では、JIS規格をもとにした独自の試験項目を定め、市場に不具合・不良品を出さないよう努めています。

なお、品質問題が発生した際は、定められた規程に基づき関係部署および経営トップに報告され、お客さま重視の迅速な対応とあわせて適宜情報を開示することとしています。

輸送時の振動を想定し、振動試験機で耐久性等を確認します

パチンコCR化物語

法的規制に対応したものづくり

製品を量産・販売する際は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」（以下、風適法施行規則）に基づく複数の許認可プロセスを経ることが義務付けられています。まず、一般財団法人保安通信協会（保通協）に型式試験申請を行い、材質・性能・遊技性などが風適法施行規則で定める規格に適合している旨の適合認定を取得します。その後、各都道府県公安委員会の検定を取得した後、次の営業・生産段階へと進むことができます。

※保通協申請：遊技機を製造・販売するにあたって、都道府県公安委員会の検定を受けることになりますが、保通協は、都道府県公安委員会に代わり、遊技機の型式の性能が技術上の規格に照らして適合しているかについての型式試験を実施しています。

※検定申請：遊技機には、国家公安委員会が定める技術上の規格があり、この規格に外れるものは遊技場に設置することができないとされています。『検定』とは、製造業者が、都道府県公安委員会に対し、自社が開発した遊技機の型式がこの規格に適合しているか否かについての審査を申請するものであり、遊技機を量産し全国的に販売を行うにあたって必要不可欠の手続きになります。

—グループ会社の取り組み—

安心して遊んでいただくための各種団体を通じた取り組み

Sammy

環境整備と健全化に向けた取り組み

パチンコ・パチスロ業界では、依存問題や不正行為等の諸問題があることも事実です。これは当社だけの問題ではなく、問題解決に向けて業界全体がベクトルを合わせていくことが重要と考えています。サミーは、より多くの皆さまに安心して遊んでいただけるホール環境の整備と健全化を推進する第三者機関として2008年に設立された「一般社団法人遊技産業健全化推進機構」への支援協力をはじめ、業界団体が進める活動等に積極的に支援・参加することで、諸問題の解決とともに業界の健全な発展に貢献していきます。

依存予防啓発ポスター

不正防止対策

遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」（2004年7月より施行）を受けて、不正な方法で利益を得る、いわゆる〝ゴト行為〟を未然に防ぐために遊技機不正対策室を設け、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。また、一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーWEBサイトや小冊子等で注意を促す等の対策を図っています。

機種別の詳細情報や遊び方を掲載した小冊子でも、不正防止等の注意を促しています

パチスロ蒼天の拳2

各種団体を通じた取り組みとしては、「日電協[※1]」と「回胴遊商[※2]」が合同で取り組む闇スロ撲滅に向けた活動にも積極的に参加しているほか、不法投棄や不正事案に対処するために「日電協」とともに、機歴管理にも取り組んでいます。

※1 日電協：日本電動式遊技機工業協同組合は、パチスロ（回胴式遊技機）市場の活性化および健全化を促進することを主たる目的として活動する団体。
※2 回胴遊商：回胴式遊技機商業協同組合は、主にパチスロを販売する商社約五百数十社で組織され、遊技業界の健全な運営と啓蒙を目指す事業協同組合。

依存問題への取り組み

現在、パチンコ業界では、依存の実態調査や過度な遊技を予防するための注意喚起、依存に起因する児童車内放置問題を撲滅するための活動、依存問題からの回復を支援する特定非営利活動法人の相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」を支援しています。サミーでは、本団体の活動に賛同し、支援協力を行っています。

株式会社 セガネットワークス

SEGA NETWORKS

ネットワークを通して、世界中の人々に〝感動体験〟を

スマートフォンやタブレット端末向けコンテンツ及びサービスを展開するセガネットワークスは、多彩で良質なデジタルエンタテインメントコンテンツの提供を通じて、人々に感動体験をお届けすることを目指しています。

2013年度にリリースした、『ぷよぷよ!!クエスト』や『チェインクロニクル（現、チェインクロニクル ～絆の新大陸～）』は、お客さまから高い評価をいただき、いまなおユーザー数が伸びています。また、マーケティング支援ツール「Noah Pass」の提供を通し、お客さまが良質なスマートデバイス向けゲームコンテンツに出会える機会も創出しています。

今後も、時代の変化に対する感度を高め、積極果敢に挑戦することで、ゲームを通じてゲームそのものの在り方や業界、世の中を変えることができる〝Game Changer〟を目指します。

『チェインクロニクル ～絆の新大陸～』

『ぷよぷよ!!クエスト』

Topics | 適切なサービス利用に向けて

スマートフォンやタブレット端末向けコンテンツを提供するセガ、セガネットワークス、サミーネットワークスでは、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限設定を設けています。また、有料で販売しているポイント等を使用して引くガチャについては、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる過課金を防ぐよう努めています。今後も、こうした施策はもちろん、各種法令遵守や消費者保護の観点から、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めます。

SEGA SAMMY GROUP

—グループ会社の取り組み—

株式会社セガトイズ

SEGA TOYS

共遊玩具や知育玩具への取り組み

玩具の開発・製造・販売を行っているセガトイズでは、「新価値創造 for the next smile」のビジョンのもと、従来の玩具の枠にとらわれない、新たな遊びを提案しています。最近では、ペットロボットや家庭用プラネタリウムなど、エレクトロニクス技術を応用した独自製品のほか、共遊玩具[※]や知育玩具への取り組みも積極的に進めています。

※共遊玩具：目や耳の不自由な子どもたちも一緒に楽しく遊ぶことができるように配慮された玩具のこと。

『夢ねこセレブ』

『ハートエナジー プーチ』
～日本おもちゃ大賞 2014 コミュニケーション・トイ部門 優秀賞受賞～

製品の安全と品質保証

セガトイズでは、「お客さま重視」と「製品安全の確保」を経営の最優先事項に掲げ、製品安全に関する基本方針に基づいた自主行動計画を策定・推進しています。開発・設計段階では、設計審査や妥当性検証のゲートを設け、安全性の確保と市場不具合の未然防止に努めています。なお、生産前には、製品の品質と安全を確認するために、試作品を用いて耐久・耐過重試験や落下試験等、様々な品質試験を徹底しています。また、玩具は幅広い層のお客さまが使用することから、製品に含まれる物質について食品衛生法等に基づいた品質基準を定め、ポリ塩化ビニル（PVC）は管理要項、誓約書を設ける等、厳しい自主基準を設けています。

耐久試験、耐荷重試験、落下試験

スイッチやボタン、耐荷重、落下時等の耐久性を確認します。

静電気試験

人体モデルと等価の静電気を製品に印加し、安全性、故障等が発生しないかを確認します。

高温高湿槽試験

温度、湿度を可変できる装置で、様々な環境条件での保存性、動作等を確認します。

蛍光X線分析装置

製品にカドミウムや鉛、水銀等の有害物質が含まれていないかをすべての製品で確認します。

製品表示に関する取り組み

製品を安全にご使用いただくために、取扱説明書や製品本体等に誤使用や不注意による事故の回避に役立つ注意喚起や表示を行っています。説明書等の書面は、各事業部で定められた確認項目をチェックするとともに、一般社団法人日本玩具協会の玩具安全基準（ST基準）に準拠した、注意表記の内容を品質保証部が確認し、表示しています。

株式会社セガ･ロジスティクスサービス

ゲーム技術を活かし、交通事故防止の教育に貢献

セガ･ロジスティクスサービスでは、業務用ゲーム機の開発で培ったコンテンツ力や技術力を活かし、自動車教習所向けのドライビングシミュレータ『SLDS-3G』を開発し、交通事故防止の教育に貢献しています。

自動車教習所に導入されている本製品は、高い教習効果を可能にするためにリアルな映像を用いており、危険を安全に体験することで、安全運転の重要性を体感し、記憶にとどめる事ができます。また、業界初のタブレット型PCを採用し、タッチパネル方式による分かりやすい操作性を実現するとともに、操作端末を持ちながらのきめ細かい指導を可能にしました。

『SLSD-3G』

―グループ会社の取り組み―

株式会社セガ エンタテインメント

お客さま満足の追求

アミューズメント施設や飲食店施設を運営するセガエンタテインメントでは、より多くのお客さまに笑顔と感動をご提供するためのサービスやお店づくりに努めています。各店舗では地域特性やお客さまの層に合せて、社員が様々なアイディアを出し合い、工夫を凝らしたサービスを展開しています。また、こうした各店舗の取り組みを表彰する「感動大賞」制度を設けたことで、社員のモチベーションアップはもちろん、お客さま視点での業務改善活動の向上にもつながっています。

安全・安心への取り組み

アミューズメント施設事業では、アミューズメント機器はもちろん、お客さまの安全にかかわる施設内の設備点検を年1回実施し、お客さまの安全確保に努めています。また、多くのお客さまに安心して気持ちよく過ごしていただくために、分煙エリアの設置等も積極的に進めています。今後も、自社で定める「100チェック」のリストに基づき、運営面、管理面の両面から自主点検を実施し、安全にかつ安心して楽しんでいただける環境確保に努めます。

年間「感動大賞」を受賞した店舗の声

左：アミューズメント施設部門「セガワールド上小田井店」
右：飲食店施設部門「Bee新宿店」

お客さまの笑顔が、成長の原動力です

私たちが最も大切にしていることは、スタッフがひとつのチームとなって取り組むことです。お客さまが施設内のどこで遊んでも、気持ちよく楽しんでいただくためには、スタッフの連携や一丸となったサービスが欠かせません。私たちの仕事のやりがいや、成長の原動力は、何といってもお客さまの笑顔です。これからもお客さまに心から楽しんでいただくために、スタッフ一丸となってお客さまの笑顔を追求します。

青少年の健全な育成に向けた取り組み

アミューズメント施設事業では、業界の発展と健全な施設運営を実現するために、「AOU青少年アドバイザー」資格の取得を推奨しています。これまで多数の社員が資格を取得し、各地域の方々と一緒になって青少年の指導・育成にかかわっています。また、業務運営マニュアルの中でも、未成年者の入場制限や喫煙に対する対応手法等を明確に示し、社員教育も徹底しています。

飲食店施設事業では、アルコールを提供する事業者の責任として、未成年者の入店を全店で禁止し、ご入店時の年齢確認を徹底しています。但し、貸切りパーティー等では、未成年の方がご来店することもあり、その際は未成年者であるかを識別するリストバンドをご提供し、サービスに誤りのないよう努めています。また、適正飲酒についても、サービスマニュアルで社員教育を徹底しています。

リストバンド

株式会社トムス・エンタテインメント

アニメを活用して、小児医療、小児歯科診療の負担軽減に貢献

「それいけ！アンパンマン」や「名探偵コナン」等のアニメーション制作を手がけるトムス・エンタテインメントでは、2010年にアニメ映像を活用した画期的な小児医療向けプレパレーション※支援ツール『スマイルタッチ』を発売し、病児のケアを通じて小児医療現場の負担軽減に貢献してきました。

2013年には、「歯科診療でも活用したい」という多くの歯医者さんの要望に応え、小児歯科向けの『スマイルタッチ デンタル』も発売しました。発売から12ヶ月で300台を突破し、利用している歯医者さんからは、「これまで協力の得られなかった患児にも絶大な効果が認められ、保護者にも非常に好評です。」などの声を多数いただき、高い評価を得ています。今後も収録アニメの定期的な更新や、現場の声を活かしてバージョンアップを図り、より子どもたちの立場を尊重した医療環境やサービスの充実に貢献していきます。

『スマイルタッチ デンタル』
収録されている歯科用アニメで診療の流れや治療器具の説明をしたり、待ち時間や治療中に人気アニメを視聴することにより、患児の不安や恐怖の緩和に役立てることができます。

※プレパレーション：病気・検査・治療等について子どもの年齢や理解度に応じた説明を行い、理解を促すことで、子どもだけでなく家族がともに前向きに治療に取り組む意欲を引き出す医療概念であり、実践手法です。また、治療中に“大声で泣く”“治療を拒否する”等のストレス反応を示す子どもに対し、そういった不安や恐れを軽減する手法（ディストラクション）も「プレパレーション」の一種と捉えられ、近年では病児ケアを行う際の重要な要素として急速に小児医療の現場に広がりつつあります。

お取引先とともに

With Partners

CSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、ともに夢と感動溢れるエンタテインメントの提供を目指します。

セガサミーグループのアプローチ

仕事を通じて同じ目的を目指し、互いに切磋琢磨する良きパートナーと考えます。清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境という多角的な視点で、お取引先を選定する基準や体制をグループ全体で整えると同時に、お取引先のご理解・ご協力を得ることで、相互信頼の上に公平・公正で良好な関係を築いていきます。そのために私たちは幅広く情報収集し、お取引先に伍した知識と判断力を持ち、お互いに適切な情報を交換し合いながら、夢と感動溢れるエンタテインメントの提供をともに目指します。

1 公平・公正な取引の徹底

セガサミーグループでは、お取引先との公平・公正な関係を構築することをグループ行動規範に明記し、常に清廉・透明で公正な取引を徹底しています。お取引先の選定や取引の継続については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断しています。

また、お取引先との公平・公正な取引を実践するために、下請法遵守を推進する体制をグループ各社に設けて管理面の強化を図るとともに、関連部門や対象者向けの教育を継続的に実施しています。

2 お取引先との連携強化

世界中の人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供するためには、開発・生産や販売等、あらゆる場面でお取引先との連携が必要です。セガサミーグループでは、お取引先との情報交換や意見交換等の機会を積極的に設け、品質向上や業務改善に向けたパートナーシップの強化に努めています。

3 CSRに配慮した取引の推進

経済・社会のグローバル化や多様化に伴い、企業の事業活動が社会に及ぼす影響範囲が拡大しています。こうした中、企業にはサプライチェーン全体を意識して社会的責任を果たすことが求められています。セガサミーグループでは、国連グローバル・コンパクトが提唱する「人権、労働、環境、腐敗防止」の4分野に関する10原則を遵守、実践していくために、主要取引先に対してもこの姿勢をお知らせし、協力を依頼することによって、サプライチェーン全体でCSRに配慮した取引を進めています。

『ジュエルペット』

公平･公正な取引の徹底

公平・公正な取引

グループ行動規範に基づき、儀礼廃止や金品の贈与、接待等を行わない旨をお取引先に書面で通知することで、取引関係の清廉性の維持を表明しています。また、社内規程に基づく継続的なお取引先の評価・選定および管理を複数部門による審査の上、行っています。

下請法遵守体制の強化

2009年4月に設立した下請法遵守を推進する委員会により、下請法違反の防止や啓発を行うとともに、管理面の強化を図っています。2013年度も業務上、下請取引が発生する部門を中心に11回の説明会を実施し、社内イントラネット上の専用WEBサイトも活用して、必要な知識の習得や遵法意識の向上に努めました。

調達方針の制定

アミューズメント機器事業においては、2011年度に「調達方針」を定めました。本方針は、公平・公正な取引により、お取引先との相互繁栄を目指すことを基本姿勢とし、お取引先の評価・選定基準については、グループ行動規範に基づいた考えを取り入れて、コンプライアンス、品質、安全性、信頼性、環境保全、情報セキュリティ、労働安全衛生等に配慮した取引の実施に努めることを明記しています。

AM資材調達方針

［基本姿勢］
1.当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」及び各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2.当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3.お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に勤め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、相互繁栄を目指します。

お取引先とのパートナーシップの強化

相互信頼を土台としたパートナーシップの構築

グローバルな開発・販売体制を持つセガは、開発・生産から販売まであらゆる場面で、お取引先と密に連携しながら、多様なジャンルのゲームコンテンツを世界中に発信しています。今後もお取引先と永続的な信頼関係の構築に努め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求することで相互繁栄を目指します。

アミューズメント施設運営パートナーとの取り組み

アミューズメント機器事業では、アミューズメント業界の活性化を重点課題と位置づけ、施設運営パートナーへのきめ細やかなサポートや施策提案を強化しています。近年では、ダウンロード配信によってコンテンツのバージョンアップを行う仕組みや、イニシャルコストを抑えて機器を販売し、その稼働に応じて売上をアミューズメント施設運営パートナーと分け合うレベニューシェアモデル等の新たなビジネスモデルの導入を進めています。

2013年度には、業界初となる基本プレイ無料（一部課金あり）の『ぷよぷよ!!クエスト アーケード』によってファミリーや女性のお客さまを呼び込み、裾野拡大に貢献しました。また2014年度は、『CODE OF JOKER（コード・オブ・ジョーカー）』の最新バージョン“Ver.1.2 Re:BIRTH”も基本プレイ無料として稼動し、初めての方でも気軽にトレーディングカードゲームをお楽しみいただけるようになりました。今後も、集客はもちろん、お客さまの満足度向上を目指したアミューズメント施設ならではの施策に、施設運営パートナーと一丸となって取り組んでいきます。

担当者の声

信頼され、頼られる存在を目指して

私たちは日々、アミューズメント施設の運営事業者さまとともに、さらなるお客さま満足度向上への取り組みに力を注いでいます。例えば、クレーンゲームをお客さまにもっと楽しんでいただくためのご提案では、担当するアミューズメント施設を現地で実際に調査し、改善ポイントを分析した上で、プライズの陳列方法や運営の仕方からご提案しています。また、普段アミューズメントゲームになじみのない方でも気軽に体験していただけるよう、基本プレイ無料の機種を店頭に配置し、アミューズメント施設ならではの楽しさを知っていただくという取り組みも行いました。施策をご提案する上で大切なことは、お店ごとの現状の課題をしっかりと把握し、蓄積してきたノウハウを最適な形で実践することです。今後もたくさんの提案と経験を積み重ね、私たちの重要なパートナーである施設運営事業者さまから信頼され、頼られる存在を目指していきます。

株式会社セガ
AM国内販売事業部 国内販売部
土屋 政喜

販売店、パートナーメーカーとの取り組み

セガの家庭用ゲームソフトの魅力を直接お客さまにお伝えするため、販売店の店頭をタッチポイントとして位置付け、製品とお店の特性に合わせた店頭販促やイベント、キャンペーンを企画して全国規模で展開しています。

また、この販売網の強みを活かして営業・流通組織を持たない他のゲームメーカーの製品も積極的に取り扱っています。そして、各メーカーを当社のパートナーとしてセガ製品と同様に細やかな販売サポートを行い、お客さまに優良なゲームソフトをお届けしています。今後も引き続き、販売店店頭を中核として販売店・パートナーメーカーとの協力関係を強化していきます。

『ヒーローバンク』店頭イベントの様子

海外パートナーとの協力

海外での事業においては、各国の法令遵守はもとより、文化や習慣に十分配慮することが重要であり、現地の事情に精通する現地企業との良好なパートナーシップ構築に努めています。

特にアミューズメント機器は販売後のメンテナンスやアフターフォローが重要なため、現地のディストリビューターとの緊密な協力関係のもとでしっかりとしたサービス体制を築いています。近年ではこの体制を活かし、当社がディストリビューターとしてセガの製品と同じように海外メーカーの機器の販売を行い、高品質なアミューズメント機器を世界に広くお届けしています。

Topics｜化学物質の適正管理

2013年度は、セガが販売する製品に含有される化学物質を適切に管理するため、「セガ機器・製品化学物質管理基準」を策定しました。これを受けて、すべてのサプライヤーに対して「製品含有化学物質管理体制」の構築と運用のご協力をお願いし、各種法令遵守の徹底と地球環境への負荷を低減することを改めて共有しました。

今後、サプライヤーには年1回、含有化学物質管理体制の自己監査の結果を報告いただくこととしており、自己監査で使用するチェックシートは、項目に回答することで達成状況を自己評価できる内容としています。今後も定期的にサプライヤーの製造拠点を訪問し、「製品含有化学物質管理体制」の構築状況や運用状況を確認し、“不適合品をラインに入れない、作らない、出さない”の考えを徹底することで、化学物質の適正管理に努めていきます。

生産パートナーとの協働

自社に製造工場を持たないファブレス型の生産体制の当社にとって、生産パートナーとの協働はとても重要です。サプライヤーとしての連携に加え、品質目標に基づく工場監査や組み立て指導等を定期的に実施し、品質向上、生産効率の向上に取り組んでいます。

新規の取引に際しては、新規工場監査を義務付けるとともに、継続お取引先についても年1回の工場監査を実施し、品質の安定につなげています。監査結果はお取引先に通知するとともに、品質目標を下回る生産パートナーに対しては、対策書の発行や品質会議の実施等改善をお願いしています。これまで長年にわたり、このような取り組みを続けてきたことで、生産パートナーの意識が高まり、安定した品質を維持しています。

サプライヤーとの連携

サプライチェーン全体で製品の安全性や品質を確保するため、サプライヤーミーティングとコミュニケーションシステム（BATON）による円滑な情報共有を通じ、サプライヤーとの連携強化に努めています。

サプライヤーミーティングの様子

Topics｜検査員認定制度

生産パートナーが品質管理を自主的に行える仕組みを定着させるために、検査員の認定制度を設けています。生産部が発行する「セガAM製品 検査員教本」に基づき検査員の心得や知識、具体的な検査手法を学んでいただき、試験に合格した者のみが自主監査できる仕組みとしています。近年は製品の一部を中国でも生産しており、中国の生産パートナー向けに中国語版の教本も発行しています。

お取引先
とともに

Sammy
—サミーの取り組み—

公平・公正な取引の徹底

公正性の確保と
お取引先さま相談窓口の設置

購買活動全般において公平・公正性を保ち、お取引先との相互協力・信頼関係を構築していくこと等を明記した購買方針を定め、直接の取引を担当していない第三者部門（内部統制室）による購買実績のモニタリングを行うことで、公正性の確保に努めています。

また、お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「サミー企業倫理ホットライン」を設置し、お取引先には制度の周知と活用をお願いしています。なお、相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることが無いよう中立的な立場であるコーポレート本部が対応し、担当役員が責任を持って処理を行います。

取引先選定基準と
CSRに配慮した取引の推進

購買外注管理規程、お取引先口座管理規程など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規お取引先の選定においては、複数部門による審査を実施し、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。なお、新規取引開始の際は、「清廉性について」の書面をもとに、直接管理職より関連する内容を説明しています。

また、購買取引においては、「グループCSR憲章」「グループ行動規範」に基づき、清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境などに配慮した購買活動を推進し、サプライチェーン全体でCSRに配慮した取引を進めています。

下請法遵守体制の強化

下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、社内教育の強化を図っています。2013年度は、人事制度上の業務の中枢を担う等級への昇格者を対象とした研修を3回実施し、37名が参加しました。また、下請法に関する認識が薄れないよう、常に社内イントラネット（下請法WEB）にて定期的に情報発信し、発注から支払までの事務処理をシステム化することで、人的ミスによる下請法違反を防止する措置を講じ、継続的に下請法の遵守と意識向上が図れるよう努めています。

お取引先とのパートナーシップの強化

品質向上と業務改善に
向けた連携強化

現場・現物・事実の掌握を基本に、お取引先への定期的な監査を実施するとともに、情報交換の機会を積極的に設け、品質向上・業務改善に向けた連携を強化しています。不適合品ゼロへの取り組みとして、お取引先（部材調達先）の不良率を、週間、半期、年間でスコアリングし、特にスコアの低いお取引先には基準を満たすよう改善指導を行っています。

また、東日本大震災を機に、事業継続や製品安定供給の視点から監査内容等の見直しを図り、二次調達先を含めたお取引先の品質管理等の状況を継続的に調査、掌握することを徹底し、サプライチェーン・BCP（事業継続計画）の強化に努めています。

Topics | 合同品質会議の実施

パチスロのユニット組み立てを担当する協力会社を対象に、年2回の合同品質会議を実施しています。会議では、不良率低減に向けた目標を設定し、不具合の共有や技術交流等も行っています。こうした取り組みを継続してきたことで不良率は大幅に減少し、最近では協力会社同士の連携も生まれています。今後もサプライチェーン全体で品質向上と業務改善に向けた連携を強化していきます。

協力会社と年2回実施している合同品質会議

担当者の声

常に改善を繰り返し、
ともに成長するために

2013年度は、2014年度から新たに導入する見積りシステムに関して、約120社のお取引先に対して説明会を実施しました。システム導入により、データの入力ミスや工数削減をはじめ、ペーパーレスや調達リードタイムの短縮等、両者の業務改善にもつながってきます。今後も、お取引先との対話を重視し、パートナーシップを強化しながら、ともに成長していきたいと思います。

サミー株式会社
生産管理本部 購買部
八板 満輝

株主・投資家とともに

With Shareholders and Investors

CSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、
継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元と適時的確な
情報開示を通し、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

セガサミーグループのアプローチ

適時的確な経営情報の開示と適正な株主還元の実施を、経営の重要課題と位置づけます。
斬新なアイディアに基づく製品開発、安定供給を可能にする生産体制、緻密なマーケティングに基づく販売計画と目先の利益にとらわれない営業姿勢、そして、透明性・信頼性の高い管理体制を整え、株主・投資家の皆さまの信頼に応えます。また、株主・投資家との様々な双方向コミュニケーション活動を通じ、経営情報を的確に伝達すると同時に、皆さまからのご意見を収集し、経営へのフィードバックを行います。

2013年度の主なIR活動の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間の実施状況
		決算発表	株主総会		決算発表			決算発表			決算発表		
決算説明会			○					○					2回／年
四半期決算説明会（電話会議）					○						○		2回／年
スモールミーティング					○								1回／年
個別ミーティング（国内）		46回			60回			51回			61回		218回／年
個別ミーティング（海外）		20回			26回			30回			45回		121回／年
工場見学会					○ Orbi横浜								1回／年
海外ロードショー		○ アジア、欧州				○ 北米					○ アジア		4回／年
カンファレンス						○（2回）					○	○	4回／年
個人投資家イベント					○								1回／年
定期発行物													
		○						○					2回／年
アニュアルレポート						○							1回／年
CSR レポート					○								1回／年
適時情報開示													
TDnet（東京証券取引所）	適時開示規則に基づいた情報を、年間を通じて提供												
WEB サイト	適時開示規則に基づいた情報をはじめ、経営方針や事業活動等、幅広い情報を年間を通じて提供												

株主･投資家への情報開示と適正な利益還元

情報開示の基本方針

セガサミーグループは、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動等の情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。

また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは、積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示します。

開かれた株主総会の実践

ホールディングスは、より多くの株主の皆さまに定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数に配慮して会場を決定しています。2014年6月の総会には、1,600名の株主の皆さまにご出席いただきました。今後も、ご意見やご質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営等を心がけていきます。

株主の皆さまへの利益還元

ホールディングスでは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。

株主･投資家とのコミュニケーションの充実

コミュニケーション方針

セガサミーグループは、株主・投資家の皆さまとの様々な双方向コミュニケーション活動を通じて、当社の経営情報を的確に伝達すると同時に、投資家の皆さまからの経営に対する貴重なご意見を収集し、経営へのフィードバックを行っています。

IR活動

ホールディングスでは、国内外における投資家向け説明会等の実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお答えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。

また、国内外の機関投資家や証券アナリストに対して決算説明会を半期に1回開催し、四半期決算に関してはテレフォンカンファレンスを実施しているほか、個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、会社説明会イベントなどにも参加しています。

IRフェア2013

担当者の声

対話の機会を大切にしています

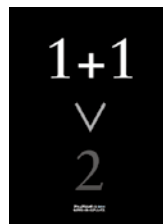
2013年度も､｢日経IRフェア2013 STOCK WORLD｣に出展しました。弊社ブースではグループ概要や成長戦略を説明するミニプレゼンテーションを行い、個人投資家の皆さまにセガサミーグループについての理解を深めていただきました。本イベントには2日間で約17,000名が来場され、弊社ブースにも多くの個人投資家の皆さまにお立ち寄りいただき、貴重な意見交換の場となりました。今後も、皆さまからいただいた貴重なご意見・ご質問をもとに、IR活動をさらに強化していきます。

セガサミーホールディングス株式会社
グループ代表室 IR部
黒崎 正裕

Topics ｜ IR活動に対する評価

セガサミーホールディングスのアニュアルレポートは、日本経済新聞社の｢日経アニュアルリポートアワード2013｣において、社外取締役による経営課題の指摘、各事業の機会・リスクとその対応を簡潔にまとめた〝中長期的な戦略ストーリー〞、事業内容や事業環境などの基礎情報を掲載した〝A to Z〞などが評価され、入賞に選出されました。

また、当社ホームページにおいては、日本で最も歴史のあるIRサイト評価・表彰制度である大和証券グループの大和インベスター・リレーションズ株式会社の｢2013年インターネットIR表彰｣で優良賞を受賞しました。

日経アウォードの盾

1+1 > 2
アニュアルレポート2014

社員とともに
With Employees

CSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神が
グループ発展の源であり、最大の財産です。
私たちは、社員が持つ限りない可能性を最大限発揮できる企業
文化を育み、ともに成長していきます。

セガサミーグループのアプローチ

会社にとって最も大切な財産は社員であり、また、社員の持つ創造性とチャレンジ精神は、グループ発展の源です。社員がそれぞれの可能性を最大限に発揮させるためには、安心して働ける職場環境が必要です。相手の人格を尊重して誠実に接し、必要なコミュニケーションを取ることで、お互いの良さが引き出され｢働きがい｣､｢やりがい｣のある快適な職場が生まれます。このような意識を持ち、お互いのニーズを感じながら仕事を進めていくうちに社内コミュニケーションは向上し、おのずと個人の仕事も会社全体の仕事の質も向上していきます。

私たちは、社員が持つ限りない可能性を最大限に発揮できる職場環境をつくり、社員が自らの成長とグループの成長を合わせて実感できる企業風土を育んでいきます。

1 人財に関する基本的な考え方

セガサミーグループは、社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり､｢社員は最大の財産（人財）である｣と考えています。社員が自らの価値を高め、誇りとやりがいをもって活き活きと働ける環境の整備を実現します。

2 労働安全衛生に関する基本的な考え方

セガサミーグループでは､｢安全と健康を守ることは全てに優先する｣との考えに基づき、関係法令並びに各社の自主管理基準を遵守し、グループ一丸となって事故・防災に備えた安心・安全でかつ衛生的な職場環境づくりに取り組んでいます。

3 働きやすい職場づくり

セガサミーグループでは、社員の個性とチャレンジを尊重し、一人ひとりが、自ら考え、その能力と創造性を発揮して、自己実現を図ることができる風土づくりを推進しています。また、個人の生活と仕事の調和に配慮したワークライフ・バランスなど柔軟な働き方を整備するとともに、多様性の推進など活力のある企業風土づくりにも努めています。

『ぷよぷよ』
©SEGA

社会性の高い人材の育成のために

人事制度・処遇

社員のキャリア形成支援とプロ意識の向上につなげるため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と自分の知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。

また、人事制度の適切な運用に不可欠である公正な評価の実現のため、管理職全員に評価者研修を実施しています。そのほかにも社内公募制度等、社員一人ひとりがその力を存分に発揮し、何ごとにも挑戦しようとする自律した企業風土づくりに努めています。

多様な人材の活用と採用

性別・国籍等の区分けの無い採用を実施し、入社後には導入研修を行いスムーズな配属を支援しています。なお、正社員においては、入社3ヶ月経過時点で勤務評定・人事面談を行い、配属先でのフォローに活用するほか、以降の採用の参考としています。

■教育基本方針

1. 全社員が受講可能な教育環境を整備いたします。
2. 資格／役割に応じたパフォーマンス発揮を支援いたします。
3. 主体的に取組まれた方々や成果を挙げられた方々に対して、さらなる教育支援を行います。

全社教育体系

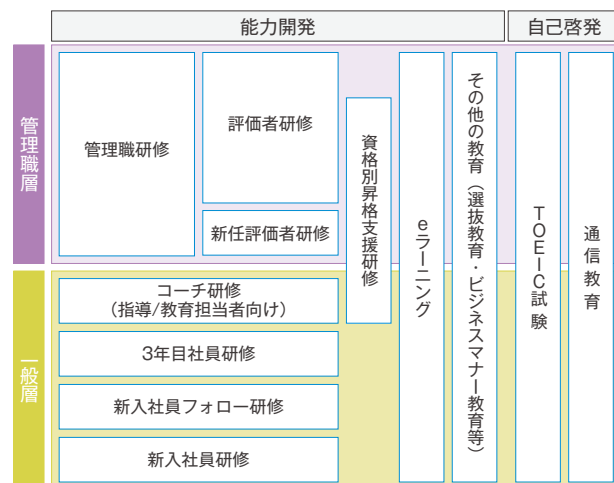
教育・研修制度の充実

市場環境の変化が激しい昨今、様々な環境変化に耐えうる能力やスキルを身に付けることが個人に求められています。そこで、2013年度は、全社的な戦力アップにより人財力を最大化するために、全社員が教育を受けられる環境を整備しました。社員のさらなる活躍と会社の長期的な成長・発展に向けて、教育基本方針のもと、全社員共通の教育施策と、階層や職種、各部門の特性を反映した教育施策を組み合わせ、社員の能力開発とキャリア開発を推進しています。

全社員に対しては、基礎的なビジネススキルやマネジメントスキル等が学べる「eラーニング ライブラリ」システムを導入し、個人の役割に応じた知識やスキルの習得機会の場を提供しています。管理職層に対しては、評価の重要性の啓発や運用力の強化に向けた評価者研修等、マネジメント力の強化を進めています。新入社員に対しては、約1ヶ月間の全社研修において、社会人/セガ社員として必要となる意識変革、知識/スキルの習得、実行力の強化を図っています。なお、それぞれの研修後には受講者アンケートを実施し、研修のフォローアップを行うとともに、その後の施策のレベルアップにも活かしています。

また、2014年度からは新入社員一人ひとりに専任のコーチをつける「コーチング体制」を導入し、職場全体で新入社員の育成を支援するとともに、コーチ経験を通じた若手社員の育成強化も図っています。これらの教育を通じて主体性を発揮し、学んだことを職場で活かしている社員に対しては、さらなる教育支援を行うことで、将来を担う人財として成長することを期待しています。

今後も社員一人ひとりの持つポテンシャルや将来のキャリアに対する志向等を踏まえ、個人と組織がともに成長できる環境を提供していきます。

新入社員研修

担当者の声

新入社員のさらなる成長や活躍に期待したい

1ヶ月間の新入社員研修に携わり、私自身が多くの刺激を受けました。研修では、「意識変革（学生から社会人へ）、能力・スキルの習得、実行力の強化」と大きく3つのフェーズで取り組みました。特に印象に残っているのは、アミューズメント施設での店舗研修です。これは、それまで学んだことを、店舗で実践することで、単なる知識習得に留まらず実行力強化につながることを狙ったものですが、最終日には、研修を受けて良かったと感極まる新人もいました。お客さまに相対し、自身の未熟さや、実際に体験・実行することの大切さなどを実感し、様々な感情がこみあげたようです。私はこれまで教えてきたことがきちんと伝わっていたのだと、ひとつの成果を体験することができました。今後も、各教育施策のレベルアップを図り、個人と組織がともに成長できる環境を創造していきたいと思います。

株式会社セガ
コーポレート本部 人事部
藤木 周平

店舗研修へ参加した新入社員

働きやすい職場環境づくり

仕事と家庭の両立支援の拡充

仕事と家庭の両立を図ることができるよう、育児・介護休暇制度等を設け支援しています。出産・育児休暇の取得前には、取得者および上長に対し、育児制度や諸手続きについて人事担当者が説明するほか、育児相談窓口や子育て情報を交換できる「子育て広場」という掲示板の設置等、施策の浸透・拡充に取り組んでいます。また、イントラネットに掲載される最新の会社情報は、休業中も自宅から閲覧可能であり、スムーズな職場復帰を実現しています。

また、社員が積極的に社会貢献活動に参加することができるようにボランティア休暇制度を設けるほか、長時間労働の削減や有給休暇の取得促進にも取り組んでいます。

育児・介護に関する制度

育児	育児休業制度	子が1歳に達するまで利用可能。 父母ともに育児休業を取得する場合は、1歳2ヶ月に達するまで利用可能。 保育所の入所が困難な場合は1歳6ヶ月に達した日以降最初の4月の保育所入所日まで利用可能。
	育児短時間勤務	子が小学校就学までは1日につき最長2時間の勤務時間を短縮可能。 小学校就学後、小学校3年生までは1日につき退勤時間を最長1時間短縮可能。 また、3歳に達するまで給与控除を行わない。
	子の看護休暇	子が小学校に就学するまで一人につき年間5日、二人以上は年間10日利用可能。保存有休を保有している場合は、保存有休を充当可能。
介護	介護休業制度	1要介護家族につき通算93営業日内で利用可能。 （介護短時間勤務を含む）
	介護短時間勤務	1要介護家族につき通算93営業日内で1日につき最長2時間の勤務時間を短縮可能。
	介護休暇	1要介護家族につき年間5日、二人以上は年間10日利用可能。 保存有休を保有している場合は、保存有休を充当可能。

障がい者や高齢者の雇用

障がい者雇用については、各部門の障がい者職業生活相談員による定期的な面談等を通じ、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

また、定年を迎えた高年齢者もそれまでの雇用形態の基準に従って再雇用を行っています。

福利厚生の充実

毎年付与されるポイントで様々なサービスを利用できる「セガマイレージ制度」やセガサミーグループ保養所など、社員が心身をリフレッシュし仕事への英気を養えるような様々なサービスを用意しています。また、財産形成の目的に応じた財形貯蓄制度等の社員の生活を支援する制度も設けています。

健康管理・増進体制の強化と労働安全の取り組みの推進

定期健康診断や人間ドック受診補助、また家族も利用可能な健康相談窓口（EAP）を設けているほか、産業保健スタッフの常駐、および内科・精神科医、保健師への相談が可能な健康管理センターを設置する等、社員の健康維持・増進を支援する体制を整えています。

また、安全衛生委員会を毎月開催し、委員会の議事録を含む安全・衛生にかかわる各種情報を社内WEBサイトに掲載し、社員への注意喚起と周知に努めています。

Sammy
—サミーの取り組み—

人事の基本的な考え方と働きがいの向上を目指して

全社員に「プロ意識」を強く持たせる人事制度

社員一人ひとりがプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、主体的なキャリア選択を提供する自己選択型の制度を整備し、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」を設けて専門性の確立と役割の明確化を図っています。社員一人ひとりに求められる役割を明確にすることで、その役割に対する成果貢献に応じた適正な処遇を行い、社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。

また、より良い職場環境の実現を目指し社員満足度調査を実施しているほか、将来的にチャレンジしたい仕事（異動希望）を申告できる自己申告制度を設け、社員一人ひとりの育成やチャレンジする意欲をサポートし、より適切な人財配置に役立てています。

階層別教育研修体系

階層	対象	研修内容	期間
新任管理職	新任管理職	新任管理職研修（マネジメントスキル・労務管理・メンタルヘルス・評価）	4日
管理職候補	管理職候補	次世代リーダー育成研修（業務遂行力、課題解決能力強化）	2日
リーダー	リーダー1年目～	キャリア研修(自己の棚卸・強みの再確認)	1日
		リーダシップ啓発研修（対人影響力強化）	2日
中堅社員	中堅3年目～	キャリア研修（自己の棚卸・強みの再確認）	1日
		ロジカルシンキング研修（課題解決、対人折衝力強化）	2日
	中堅1年目	後輩指導力向上研修（傾聴力強化、指導方法学習）	3日
新入社員	入社3年目	プレゼンテーション研修（プレゼン技法、説得力強化）	3日
	入社1年後	新人フォロー研修	3日
	入社時	新入社員研修・バリューチェーン研修	5ヶ月

社内表彰制度の実施

社員の優れた成果を称え、社員のモチベーション向上につなげることを目的に社内表彰制度を設けています。これは、社員が業務プロセスで実行した改善活動や新たに創出した開発、技術、営業成績等に対し、優れた成果を「会長賞」「社長賞」として表彰するものです。2013年度は、16案件、のべ118名が表彰されました。

体系的な教育研修制度の充実

「一人前としての能力を習得するまで、組織は責任を持って育成する」という人財マネジメントポリシーに基づき、階層や等級ごとに細分化した研修プログラムを整備し、能力開発の機会を提供しています。

Topics　新入社員の研修内容を充実

2014年度は新入社員研修を1ヶ月間から5ヶ月間へと延長しました。4月はこれまでと同様ですが、5～8月の4ヶ月間はバリューチェーン研修として、各部門の仕事内容（お客さまに製品が届くまで）の概要を理解できるような研修内容としています。これにより、9月以降に配属された部署で各部門や組織の役割を認識した上での仕事の進め方の習得や、組織を跨いだコミュニケーションの向上をはじめ、様々な副次的な効果を狙っています。

担当者の声

2014年度はキャリア開発施策元年

2013年度は「社員一人ひとりの力量を向上させる」「組織を活性化させる」ことを主眼に、これまでの人事施策や制度をいま一度見直し、多くの部門長を巻き込み、意見を取り込みながら、新たなキャリア開発施策の実行に向けて準備に取り組んできました。そして、2014年度は具体的に「ジョブローテーション、最適配置、多様なキャリア形成の支援、自己申告制度」を4つの柱に施策を実行していくことになります。サミーの成長を支えるのは、社員一人ひとりの力であり、一人ひとりの力量がアップすれば、組織も会社も成長し、その力は何倍にもなります。サミーが掲げる"パチンコ・パチスロの両方でトップシェアを取る!"という目標に対して、社員が成長する基盤をきっちりと構築していきたいと思います。

サミー株式会社
コーポレート本部 人事部
浅野 佳亥

働きやすい職場環境づくり

ワークライフバランスの推進

次世代育成支援対策推進法に基づき、育児・介護に関して法定以上の制度を定めています。例えば、子の出産後、特別休暇に加え最大4日まで有給休暇を取得できる「Hello Baby休暇制度」や、小学校3年生の子まで対象を拡大した「育児短時間勤務制度」の導入等、仕事と子育ての両立を目指す社員を支援し、働きやすい職場環境を提供しています。

また、有給休暇取得促進に関する制度（リラックスホリデー）を導入するなど、労働時間短縮に向けた取り組みも推進しています。こうした取り組みの結果、2007年から継続して、次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主として認定されています。

なお、2014年度からは、エリア限定職の社員を対象に、それまで1日単位での取得であった看護・介護休暇を半日単位で取得可能としました。今後も働き方の多様化や社員の年齢構成の変化等を考慮し、福利厚生制度の見直しを図っていきます。

育児・介護に関する制度

育児	育児休業制度	子が1歳に達するまで利用可能。 父母ともに育児休業を取得する場合は、子が1歳2ヶ月に達するまで利用可能。 （要件を満たす場合、最長2歳6ヶ月に達するまで延長可能）
	育児短時間勤務	子が小学校就学するまでは、1日につき最長2時間の勤務時間を短縮可能。 小学校就学後、小学校3年生までは1日につき最長1時間の勤務時間を短縮（早退）可能。
	子の看護休暇	子が小学校に入学するまで、一人につき年間5日間、二人以上の場合は年間10日間利用可能。積立年休を保有している場合は、積立年休を利用可能。
介護	介護休業制度	1要介護家族につき通算93営業日以内で取得可能。 （介護短時間勤務含む）
	介護短時間勤務	1要介護家族につき通算93営業日以内で取得可能。
	介護休暇	短期介護休暇（要介護者一人につき年間5日間、二人以上の場合は年間10日間利用可能） 長期介護休暇(積立年休を保有している場合、その限度内で利用可能)

障がい者雇用の推進と定年退職者の再雇用

障がい者雇用に関しては、公共職業安定所および人材サービス会社主催の合同面接会へ参加し、積極的な採用活動を行っています。また、定年退職者の再雇用については、「高年齢者雇用安定法」改正に基づき、2006年より定年後再雇用制度を導入、制度導入後現在にいたるまで、希望者全員を最長5年間再雇用しています。

安心して働ける環境づくり

ケガや病気で働けなくなった際の所得補償として、長期収入サポート制度（団体長期障害所得補償保険（GLTD））を2011年4月より導入しました。会社にとって最も大切な財産は社員であり、働けなくなるリスクの一部を会社が補償する制度を導入することで、社員が「安心して働ける環境」の実現につなげています。

労働安全への取り組み

社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。川越工場では、社員自らが身のまわりに潜む危険要因をチェックし、都度改善する「6Sパトロール※」活動を行う等、各職場の業務特性や実情に沿った取り組みを推進しています。

2013年度の労働災害発生件数は1件あり、勤務内災害が発生した職場では改めて原因を究明するとともに改善策を講じています。

毎月開催される安全衛生委員会

※6Sパトロール：整理（せいり）・整頓（せいとん）・清掃（せいそう）・清潔（せいけつ）・躾（しつけ）に、サミー川越工場では安全（セーフティー）を追加。6Sパトロールとして安全・衛生面に配慮し、働きやすい環境づくりを目指しています。

メンタルヘルスケアの推進と健康管理・増進体制の強化

メンタルヘルス対策として、「予防」が最も重要と考えています。自らのストレス状況を把握するためのWEBツールを活用し、セルフチェック機能を高める一方、ラインケアの強化策として、新任管理職を対象にメンタルヘルスマネジメント研修を実施し、部下の体調変化に素早く気づけるよう、意識強化を図っています。さらに、上司による労働環境改善や、産業医との面談・外部医療機関への相談体制の整備等、疾病の早期発見・迅速な対応に努めています。休職者が復職する際には、所属長・産業医・人事部が連携を図り、全面的なサポートを行っています。

また、社員が心身ともに健康であるために、長時間労働の削減に努めており、長時間労働者に対しては、問診票配布、産業医面談を行うほか、所属長への労働時間削減への取り組みを促すことの徹底、休暇の取得促進等を体系的に実施しています。そのほか、年1回受診する健康診断結果をもとに、産業医および看護師からの指名による健康面談の実施や、勤務時間中いつでも産業医・看護師に相談できる体制（支店や営業所の社員はWEB会議などを利用して面談できる）を整備し、社員の健康管理体制の強化に努めています。

―グループ会社の取り組み―

株式会社セガトイズ

男女の区別なく活躍できる風土づくり

社員一人ひとりが心身ともに充実した状態で業務に取り組むために、仕事と家庭の両立を支援しています。社員の多様な価値観やライフステージに応じ、継続的に活躍できる環境整備に取り組むとともに、ノー残業デーを設け、時間外労働を削減するための社員の意識・行動改革も行っています。玩具を扱う事業特性上、女性比率が比較的高い特徴の中、管理職として活躍する女性社員の増加や、育児休業取得後に職場復帰をしやすい環境を整えるなど、様々な取り組みの成果が表れています。今後も社員全員がやる気や活力に満ち溢れ、男女ともに活躍できる風土づくりを目指していきます。（参考データ：女性社員比率38%、女性管理職比率24% ※2014年6月時点）

担当者の声

女性社員がさらに活躍しやすいように、新たな道を切り拓いていきます

当社でも最前線で活躍する女性社員が増えてきました。入社当時を振り返ると、女性管理職の方が少なく、相談できずに些細なことで悩んでいたことを思い出します。この4月からは私自身に求められる役割や期待が高まりプレッシャーも感じます。しかし、そのプレッシャーをエネルギーにして、先頭に立って仕事を楽しみながら結果を残し、そうした挑戦し続ける姿を後輩に見せることで、会社の成長に貢献していきたいと考えています。

経営陣と現場の女性社員との架け橋となり、女性社員がさらに活躍できる環境づくりもサポートしていきたいと思います。

株式会社セガトイズ
執行役員 TOY事業部 TOYMD部
宮崎 奈緒子

株式会社トムス・エンタテインメント

社員の可能性を最大限に引き出す職場環境づくり

多機能な映像エンタテインメントカンパニーへの転換を目指すトムス・エンタテインメントでは、社員のさらなる成長が重要と考え、社員の能力開発とキャリア開発を推進しています。2013年度は、経営管理層はチームビルディング、業務管理層は意識行動変革と部下育成の研修、一般層はキャリアプランやパートナーシップ・コミュニケーションというように、階層別の研修を実施しました。また身近な業務に役立つスキルアップ研修の実施や外部セミナーを受講できる環境を提供するなど、社員の学習機会の拡大も図っています。

人事制度については、適材適所の人材配置と人材の活性化を図るとともに、女性の活躍とキャリア形成を重視し、意欲のある女性が長期的に勤務、活躍できる環境を整備しており、現在5名の女性が課長以上の管理職として活躍しています。

人事評価制度については、目標管理制度を導入し、半期ごとに上長とのフィードバック面談を実施し、それぞれが納得して仕事に取り組める環境を目指しています。

担当者の声

会社の成長は社員の成長があってこそ

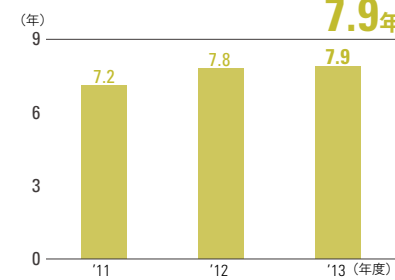
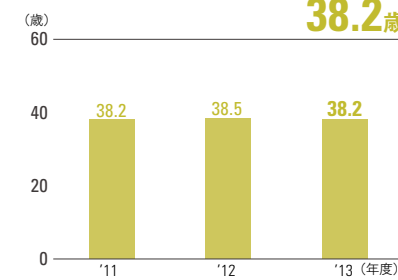
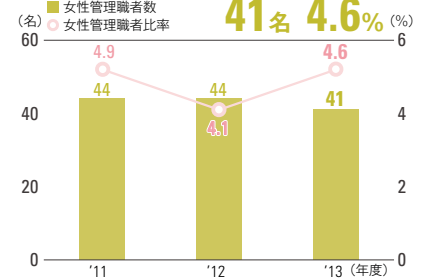
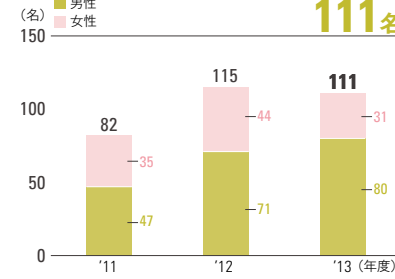
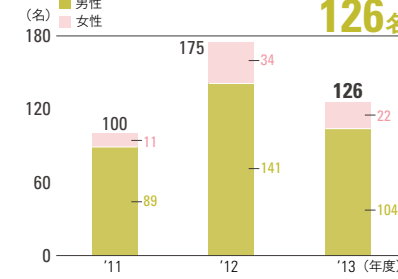
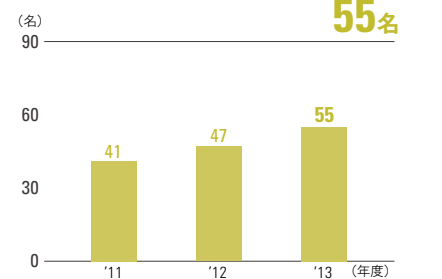
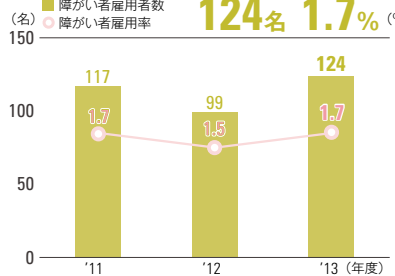
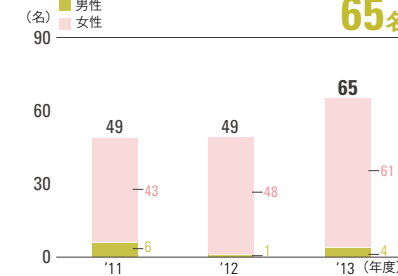
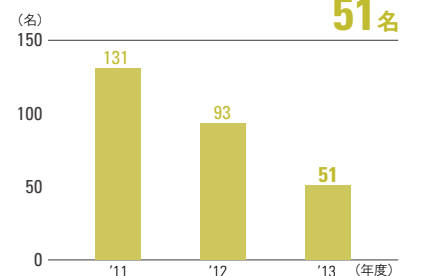
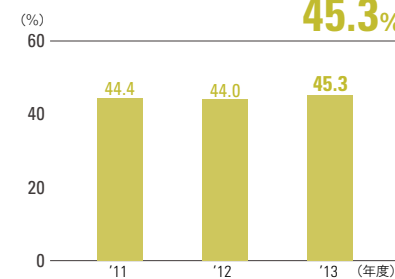
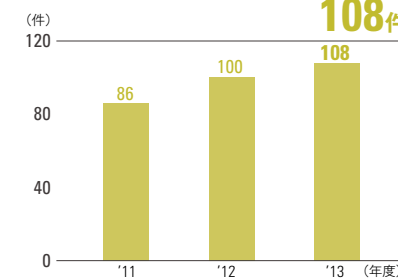
少子化や娯楽の多様化など、アニメーション制作事業を取り巻く環境は厳しさを増す中、社員に求められる役割や業務範囲も広がり、新しい時代に適応できる人財の育成が必要不可欠になっています。当社では、階層別の研修に力を注ぎ、個人が組織に求められる役割を認識し、それを確実に実行できる人財を一人でも多く育成できるように取り組んでいます。これからも社員が存分に能力を発揮できる職場環境整備と企業風土の醸成を図り、次代を担う社員を育成していきます。

株式会社トムス・エンタテインメント
管理本部 人事部
荒居 知香子

データ編
～人事・労務データ～

［対象範囲］

セガサミーホールディングス、セガ【セガ エンタテインメントとセガネットワークスを含む】、サミー、サミーネットワークス、セガトイズ、トムス・エンタテインメント、フェニックスリゾート

※連結従業員数については、P.6のグループ概要ページに記載。
※2012年度版まではセガとサミーの人事・労務データを開示しておりましたが、2013年度版より新たに5社を対象範囲に加え、計7社の人事・労務の主要データを開示。これら7社の合計は、グループ全体の約7割をカバーしています（正社員比率）。

社会とともに
環　境

With Society

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、
事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、
地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

セガサミーグループのアプローチ

温暖化、天然資源枯渇、廃棄物による汚染といった地球環境問題はますます深刻さを増してきており、環境課題への対応は、すべての企業、個人が取り組むべき最優先課題となっています。
セガサミーグループは、「社会の持続的発展」に向けて、環境に関する法令･規制を遵守することはもちろんのこと、省エネやリサイクル、消耗品使用の削減など環境に調和した事業活動に努めるなど環境にプラスになることを積み上げていきます。

1 環境負荷と環境影響

セガサミーグループは、製品の製造から施設の運営まで多岐にわたる事業を展開しており、環境負荷を低減するためには、まず事業活動全体の環境影響を把握する必要があると考えています。そこで、主要な事業所や施設の環境基礎データを集計・把握し、環境負荷の推移を評価することで、環境負荷の低減に努めています。

今後も、照明や空調等の効率的な使用をはじめ、省エネ設備への切り替え等を積極的に進めることで、電力使用量の削減に努めていきます。

2 環境関連法規の遵守

セガサミーグループでは、環境関連法規はもとより、各事業会社が同意した業界団体等の指針を遵守し、環境汚染の防止に努めています。なお、2013年度は、環境関連法規違反および環境を汚染する事故はありませんでした。

3 環境教育・環境啓発

セガサミーグループでは、環境保全活動をグループ全体に展開し、維持・発展させるために積極的に環境教育を進めています。イントラネットで環境問題について意識啓発するだけでなく、教育ツールともなる環境ハンドブックを作成し、全社員の意識向上を図っています。環境ハンドブックは、環境問題に関する知識と感度を持ち、家庭でも環境に配慮した行動を起せるように分かりやすく編集しています。今後も、環境保全は社会を構成する一人ひとりが真摯に取り組まなくてはならない問題であるという認識のもと、グループ全体で環境保全に取り組んでいきます。

『エイリやん』

データ編
～環境データ～

［対象範囲］

セガサミーホールディングス（HD）、セガ【セガ エンタテインメント（SE）とセガネットワークスを含む】、サミー、サミーネットワークス（SNW）、セガトイズ（TOYS）、トムス・エンタテインメント（TMS）、フェニックスリゾート（PSR）

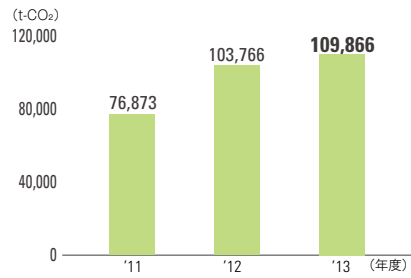
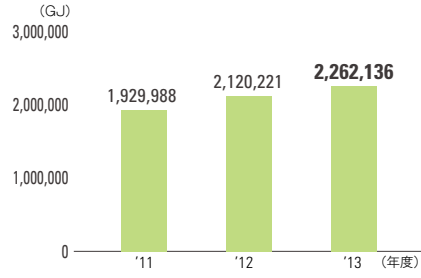
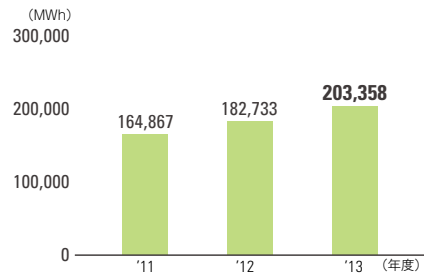
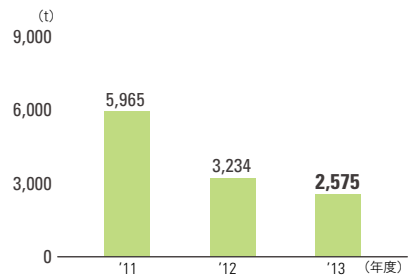
※2013年度版より、セガの一部、SNW、TOYS、TMSを新たに対象範囲に加え、計7社の環境主要データを開示。なお、会社名表記については、一部（）内の略称で記載しています。
※セガ エンタテインメントは、アミューズメント（AM）施設部門と飲食店施設部門（Bee店舗）で構成され、AM施設部門は2012年度までセガに含まれていたため、飲食店施設部門のBee店舗分が2013年度より新たに追加しています。

CO_2総排出量

総エネルギー投入量

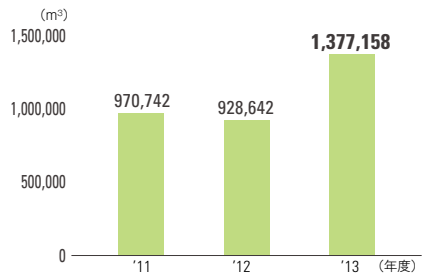
(GJ)
3,000,000
2,000,000
1,000,000
0
1,929,988
2,120,221
2,262,136
'11
'12
'13
（年度）

電気使用量

(MWh)
300,000
200,000
100,000
0
164,867
182,733
203,358
'11
'12
'13
（年度）

産業廃棄物排出量

［対象施設（拠点数）］

			2011年度	2012年度	2013年度
オフィス			58	70	58※1
アミューズメント施設	セガ	直営店	191	194	—
	SE	直営店（AM施設とBee店舗）	—	—	219※2
	セガ	ジョイポリス、Orbi	3	2	3
	セガ	温浴施設	1	1	1
レジャー施設	PSR		1	1	1
生産拠点	サミー	川越工場、旧川越工場	1	2	2

※1：オフィスの内訳は、HD 4、セガ 11、サミー 39、SNW 1、TMS 2、TOYS 1。
※2：2013年度よりAM施設とBee店舗はセガの子会社SEとして開示。

水使用量

［対象施設（拠点数）］

			2011年度	2012年度	2013年度
オフィス			42	51	23※3
アミューズメント施設	SE	直営店（AM施設とBee店舗）	—	—	219
	セガ	ジョイポリス、Orbi	—	—	3
	セガ	温浴施設	—	—	1
レジャー施設	PSR		1	1	1
生産拠点	サミー	川越工場、旧川越工場	1	2	2

※3：2013年度より賃貸物件人員50名未満の事務所を対象外としたため減少。なお、オフィスの内訳は、HD 4、セガ 5、サミー 10、SNW 1、TMS 2、TOYS 1。

サミー川越工場における環境配慮の状況

			2011年度	2012年度	2013年度
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率		97.76%	98.47%	96.58%
環境配慮素材の利用	木材使用量		3,145t	1,779t	2,400t※4
		うちPEFC認証木材※5	1,012t（32.2%）	468t（26.3%）	134t（5.6%）※6
	接着剤使用量		2.7t	0.36t	—※7
		うち水系接着剤	2.7t（100%）	0.36t（100%）	—

※4：盤面にベニヤ板を使用する製品の生産量が増加したため増加。
※5：PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム（Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes）によって「持続可能な森林管理が行われている」と第三者機関に認証された森林より適切に調達された木材。環境破壊的な森林伐採による木材や製品の流通を抑えるための仕組みで、PEFC認証木材を購買することで、持続可能な森林管理の促進に貢献している。
※6：PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したため減少（PEFC認証木材はパチンコのみで使用）。
※7：2013年度より接着された状態での部材の入荷に切り替わったため未使用。なお、サプライヤーにおいては、環境負荷の少ない水系接着剤を100%使用。

SEGA
―セガの取り組み―

地球環境保護への持続的な取り組み

CO_2の間接排出源となる電気を使用することが事業全体の前提となっているセガでは、この影響を事業活動の中で抑制するとともに、事業外スキームを活用したオフセットにより地球環境保護へ取り組んでいます。

6年目を迎えた森林の里親活動　～「セガの森」～

セガは2008年4月より、10年契約で長野県南佐久郡南相木村と「森林の里親契約」を締結しています。対象となる民有林約3,633ha（東京ドーム 約773個に相当）を、「セガの森」と名付けています。

「セガの森」の整備によるCO_2吸収量は、当初の122.6t-CO_2から2013年度実績では1,754.8tまで増加しました。これは平均的なアミューズメント施設1店舗のCO_2（間接）排出量の4年分相当をオフセットする規模になります。

また、「セガの森」は社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活用されています。

2013年度の「セガの森」整備によるCO_2吸収量が長野県より評価され、「森林CO_2吸収量認定書」が発行されました。2013年度の実績は1,754.8t-CO_2となりました。

自然学習

自然を大切にする気持ちが次世代へと語り継がれていくことを願い、セガサミーグループ社員とその家族が一緒に体験できる、下草刈や農作物の収穫、魚つかみ等の毎年趣向を変えた自然学習イベントを行っています。

森林整備

日常的に「セガの森」を守り、育んでくださっている村民の皆さまにご指導いただき、森林整備の大切さや大変さを身をもって学ぶ機会として、枝打ち、間伐等の森林整備体験を毎年実施しています。

地域との交流

南相木村では、村民の皆さまが村の歴史、山歩きのコツ、川遊びの方法、美味しい野菜を育てる大変さ等の様々なお話を通して、自然の厳しさ、大切さといった都会の日常では感じ取れないことを教えてくださいます。

南相木村は総面積の8割程度を山林原野が占め、その谷間を縫うように水量豊かな川の流れる、長野県の東南端、群馬県境に位置する自然豊かな村です。

●南相木村Webサイト：http://www.minamiaiki.jp/

「セガの森」が誕生した年、2008年に設置したアドプトサイン。当時の南相木小学校1～6年生の皆さんが「理想の森林」をテーマに絵を描いてくださいました。この時の皆さんが全員小学校を卒業された2014年、同校の新たな1～6年生が、再びこの「セガの森」の象徴である新しいアドプトサインに「自然と共に育む未来」を描いてくださいました。

ステークホルダーの声

互いの良さを分かち合って

長野県 南相木村 村長　**菊池 毅彦** 氏

南相木村では、住民の皆さんとともに「心豊かで安心して生活できる村」、「未来ある村」を目指し、活気ある村づくりに取り組んでおります。そうした中、セガ様とは2008年に「森林の里親契約」を締結して以来、森林づくりだけでなく、東京ジョイポリスやセガサミー野球部の試合へご招待いただくなど、様々な交流の場を設けていただき、心から感謝しております。企業と地域がこうした形で交流を深め、互いの良さを分かち合いながら、つながっていくことは、豊かな社会を次世代へと引き継いでいくために、とても重要だと思います。今後も、日本のため、ひいては世界のためにつながりを深め拡げていければ幸いです。

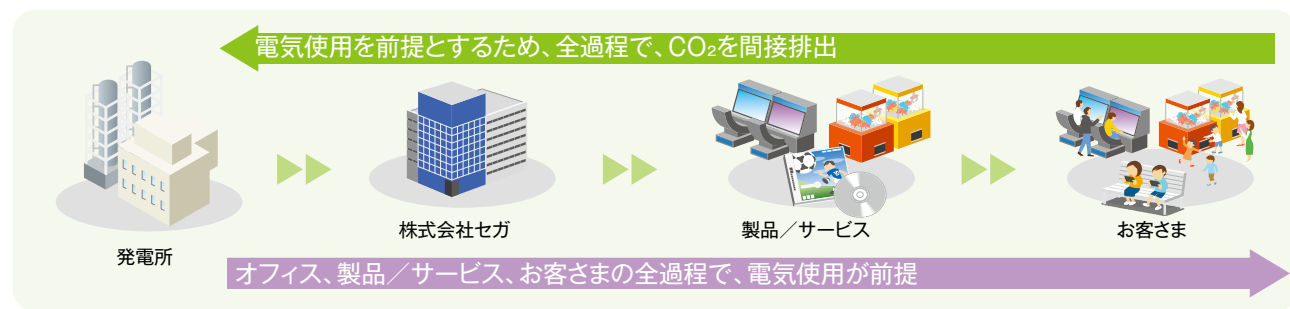
電気使用を前提とするため、全過程で、CO_2を間接排出

発電所

株式会社セガ

製品／サービス

お客さま

オフィス、製品／サービス、お客さまの全過程で、電気使用が前提

事業を通じた環境保全活動

製品の省エネルギー化への取り組み

開発生産統括本部では、アミューズメント機器の運用における利便性向上に取り組む委員会を開催しています。その中でLEDや液晶ディスプレイ等の低消費電力部品の積極的採用や、照明スイッチの個別設定、待機時の電力消費を抑えるエコモードの搭載等を進め、省電力でエネルギー効率の高いアミューズメント機器の製品化に努めています。

2013年度に販売を開始した『北斗の拳 BATTLE MEDAL』にもエコモード機能を搭載しており、大幅な節電効果をあげることができました。

北斗の拳　BATTLE MEDAL

©武論尊・原哲夫/NSP 1983 ©NSP 2007 版権許諾証 PGA-704 ©Sammy ©SEGA

エコモードにすることで
20%の節電効果

資源の有効利用と製品の長寿命化に向けた取り組み

アミューズメント機器『StarHorse2』のパーツを『StarHorse3』、『StarBoat』へ流用する等、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にすることで、廃棄物の抑制に努めています。また、販売部門を含むデザインレビュー等を通じて日常メンテナンスや定期点検を考えた製品設計を行い、その手順を分かりやすく記した各種マニュアルを店舗に提供することで製品の長寿命化につなげています。

アミューズメント機器のリサイクル

アミューズメント施設では、メンテナンスの徹底等による機器の長寿命化を図っていますが、廃棄せざるを得ない機器については、物流を担うセガ・ロジスティクスサービスにおいて、手分解により100%リサイクルを実施しています。物流拠点に産業廃棄物中間処理業者を招致することで、廃棄品を運搬するコストや燃料を抑制し、不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開し、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」を達成しています。

手分解によるリサイクル

その他の環境保全活動

オフィスでの環境活動

本社や各事業所では、照明の間引きや空調の抑制等の節電対策を行う他、様々な省エネや省資源、コスト削減につながる取り組みを推進しています。

ネットワークの完全無線LAN化とともに、パソコンを通して音声通話するシステム等の導入により、ネット回線と電話機の配線に要する資源やコストを削減しました。ネットワーク上での資料共有ツールの活用、各フロアや会議室へのプロジェクター設置、出力時に個人認証を要する複合機の採用と最適配置により、紙資源の削減も推進しています。また、拠点間の往来時間等の負荷削減のためTV会議システムを拡充しています。

今後も各システムの利用状況等を調査し、さらなる改善を図ります。

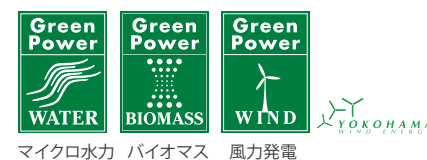
グリーン電力証書システムの導入

2005年度より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書（マイクロ水力、バイオマス）」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置の風力発電機（ハマウィング）を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、Y（ヨコハマ）-グリーンパートナーとして協賛しています。2013年度の実績は95,504kWhです。

グリーン電力証書

マイクロ水力　バイオマス　風力発電

社会とともに
環　境

Sammy
—サミーの取り組み—

環境保全活動（工場での取り組み）

3R活動の推進

パチンコ・パチスロは資源有効利用促進法の対象製品であることから、製造プロセスや製品ごとに取り組みを整備し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを徹底しています。なお、2013年度の遊技機リサイクル率は、96.58%でした。（サーマルリサイクルを除く）

［設計・開発段階での取り組み］

設計・開発段階では、基板の種類を限定するなど、各製品における共通使用を可能とし、余剰部品が発生した場合でもほかの製品に活用できるよう取り組んでいます。なお、部材の共通化をサミーグループ4社（サミー、タイヨーエレック、ロデオ、銀座）で積極的に推進し、資源の有効利用、廃棄物の削減に努めています。

［生産・輸送段階での取り組み］

生産段階では、生産工程で発生する廃棄物のリサイクルや適正処理等に積極的に取り組んでいるほか、部材並びにユニット品の輸送時に通い箱を利用して、容器包装の削減に努めています。また、2012年9月には新工場の隣接地に新たに流通センターを設けました。製造拠点に流通センターを設けたことで、これまで散在していた部品保管倉庫の機能を集約することができ、輸送にかかるエネルギーの削減につながっています。加えてリサイクル・リユースの効率化も図ることができました。

［廃棄段階での取り組み］

多くのお客さまに楽しんでいただいた後の使用済みパチンコ・パチスロは、適正に処理するために、自社台の下取りのほか、業界団体回収システム等を利用した適正なリサイクル処理を行っています。

グリーン調達の取り組み

パチンコ・パチスロの設計・開発段階において、鉛フリーはんだ部品、森林認証材の採用を進め、さらにサプライヤーには水系接着剤の採用を推奨する等、環境負荷の少ない原材料を用いるグリーン調達の取り組みを行っています。

遊技機の省エネルギー化への取り組み

遊技機の消費電力を抑制するために、業界統一機能のエコ機能を搭載した遊技機を提供しています。遊技中や待機中の照明の消灯や減灯、音量設定が調整できる機能を搭載しており、遊技に支障をきたすことなく消費電力を抑える機能となっています。

エコ機能を搭載した製品には、マークを表示しています

Topics ユニット品の納入・輸送時における梱包資材の削減

ユニット品の納入・輸送時の梱包に、ダンボールを使用しない梱包形態をとり容器包装を削減しています。また、遊技機の輸送に際しては、トラックの荷台に棚状のデッキを使用することで2段積みとし積載効率の向上を図っています。

Topics 使用済み遊技機回収システムへの参画

「日工組※」が取り組んでいる使用済み遊技機回収システムに参画しています。これは、製品の性状・構造を熟知する製造メーカーが、ホール・運搬業者・処理業者等と連携して、使用済み遊技機を処理することで、より高度な再生処理等（減量などの適正な処理）を実施するための取り組みで、「日工組」が環境省から認定資格を取得し取り組んでいるシステムです。サミーは2010年からこの取り組みに参画し、使用済み遊技機を最終処分処理完了まで適正に行っています。

※日工組：日本遊技機工業組合は、ぱちんこ遊技機等製造会社35社で構成する組合で、ぱちんこ遊技機等を身近で手軽な大衆娯楽として、安心して楽しんでいただくために日々活動する団体。

環境保全活動（オフィスでの取り組み）

オフィスでの省エネ・省資源の取り組み

これまでもエアコンの温度設定管理をはじめ、照明の間引きやパソコンのスリープモード設定の徹底、「ごみゼロ運動」等、地道に省エネ・省資源につながる活動を徹底してきました。2013年度は、さらなる省エネ・省資源やコスト削減を推進すべく、新しい複合機の採用と最適配置や、ミーティングスペースへの共有パソコン・プロジェクターの設置、デスクトップパソコンからノートパソコンへの切り替え、タブレットの導入等、様々な施策を実行しました。これにより、エネルギー使用量や紙資源の削減はもちろん、業務の効率化などにもつながっています。今後も各システム導入の効果や利用状況等を継続的に調査し、さらなる改善を図っていきます。

社会とともに
社会貢献

With Society

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、
事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、
地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

セガサミーグループのアプローチ

セガサミーグループは、良き「企業市民」として社会に貢献する必要性を強く認識しています。本業のエンタテインメントを通じて豊かな社会の創出に貢献していくことはもとより、グループ各社、各事業所等において、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、社会への貢献を進めていきます。また、こうした活動を通じて、社員一人ひとりの成長とグループとして強くなるためのベクトル合わせにもつなげていきます。

1 社会貢献の取り組み

本来の事業活動の繁栄を通じて社会に貢献するだけでなく、芸術・スポーツ等の文化の発展にも貢献すべく、年間を通じ様々な活動を幅広く継続的に支援しています。中でも、次世代の育成に力を入れ、子どもたちに夢と感動をお届けする場を、グループ各社がそれぞれのリソースを活かし、積極的に創出しています。

『パンダコパンダ』
©TMS

※東日本大震災復興支援活動については、P.15-16にまとめてご報告しています。
※社会貢献活動は、P.56-57のグループ会社紹介のページでもご報告しています。

社会支援
絵本を届ける運動

国際貢献活動として、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」（貧困や内戦によって不安と悲しみを抱える子どもたちの安らぎ、楽しみになることを祈って、子ども向けの図書がほとんど出版されていないカンボジア、ラオス、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンへ、現地語訳のシールを貼った日本の絵本を届ける活動）に賛同し、グループ社員から不要な古本等を回収したお金で絵本を購入、現地語訳のシールを貼って現地へ送る活動を行っています。6年目の2013年度は、グループ企業24社の社員が参加し、2年前から始めた自動販売機の10円募金を追加した合計金額で220冊の絵本を作成しました。これにより当グループが送った絵本の総数は838冊になりました。

スポーツ芸術文化
障害者クロスカントリースキー日本チームの支援

セガサミーグループでは、日本国内の障がい者及びその関係者がクロスカントリースキーに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的として活動する日本障害者クロスカントリースキー協会のメンバーを母体に結成されているナショナルチームを継続的に支援しています。パラリンピックなどを目指したい障がいのある青少年に夢を与えたいという思いで毎日厳しい練習をこなす選手たちを、これからも応援していきます。

ホールディングスを訪れた選手の皆さん

2014年7月にスポーツ功労団体表彰を受賞しました

社会支援
NPOとの協働による玩具の寄贈と玩具除菌活動

「本業を活用し少しでも社会課題の解消に」と考え、セガトイズのおもちゃをNPO等の非営利団体に寄贈しています。 2009年度より継続実施し今年で5回目を迎えたこの取り組みは、当社グループが認定特定非営利活動法人日本NPOセンターとともに非営利団体を選定し寄贈しています。

2013年度は、小児がんや小児の難病治療の家族の滞在支援をする認定特定非営利活動法人ファミリーハウス様へ、約400点の玩具を寄贈しました。また、当社スタッフが宿泊施設を定期的に訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に、玩具やぬいぐるみの除菌・修繕作業も行っています。

スポーツ芸術文化
野球教室の開催とセガサミーカップ学童軟式野球大会

セガサミー野球部は、東京都の学童野球のレベルアップを目的に開催される「東京・キッズ・ベースボールアカデミー」に2008年より講師として参加しています。2013年11月に江戸川区内学童野球13チーム（260名）、2014年1月には八王子市内学童野球17チーム（205名）が守備・打撃の基礎練習や実戦に役立つプレーの指導を実施しました。

また、セガサミーが野球場の提供と大会運営をサポートしている「セガサミーカップ学童軟式野球大会」は、今年で5回目を迎えました。セガサミー野球部は、スポーツを通じた明るく健全な社会の形成に寄与するため、これからも野球教室をはじめ各種活動を展開していきます。

社会支援
ボトムアップでピンクリボン運動を推進

Sammy

サミー大阪支店では、2012年よりピンクリボン運動に参画しています。「乳がん撲滅」を目指した運動で、多くの社員からの声で運動が始まりました。お客さまやお取引先にもご協力いただき、毎年春と秋に開催するゴルフコンペにチャリティホールを設置し、社内受付に常設された募金箱の募金と合わせて、認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）へ寄付しています。2013年度は総額204,495円を寄付しました。

セガサミーカップPRESENTS ジュニアスポーツフェスティバル

セガサミーグループでは、「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」の開催に合わせ、地域におけるスポーツ振興と地域貢献を目的に、小中学生を対象としたスポーツ教室を2006年から継続的に開催しています。開催地の千歳市および近隣の恵庭市、苫小牧市のご協力により、「ジュニアスポーツフェスティバル」は年々規模を拡大しており、2014年は計16種目の教室に総数1,500名が参加しました。水泳は北京・ロンドンオリンピックメダリストの松田丈志選手（セガサミーホールディングス）、バレーボールは元全日本の佐々木太一氏など、各競技の選手・元アスリートが基本から実践・メンタルまで幅広く指導を行い、子どもたちに競技の楽しさを伝えました。

第13回 東京JAZZ

セガサミーグループは、東京国際フォーラムで毎年夏に開催される国内最大級のジャズフェスティバルに特別協賛しています。13回目を迎えた本イベントを開催当初から継続支援しており、これからも東京の新しい文化の発展に寄与し続けます。

©Hideo Nakajima

スポーツ芸術文化
チャリティ自転車12時間耐久レース

セガヨーロッパでは、スポーツで負傷した人たちを支援するチャリティを継続的に支援しています。2013年度は、Brands Hatch※において自転車12時間耐久レースが5月に開催され、セガヨーロッパから8名が参加しました。今回のイベント後、チャリティ寄付金は、のべ240,000ドルを超えました。

※Brands Hatch：イギリスのケント州にあるサーキット。1964－1986年までイギリスグランプリが開催され、2012年ロンドンパラリンピックでは自転車のロードレースおよびタイムトライアルの会場として使われた。

地域活動
地元園児による花植え

岐阜県各務原市にあるオアシスパークでは、毎春、近隣の幼稚園に花植えのお手伝いをお願いしています。6～10月に花を咲かせるトレニアを水族館前に植えた後、観覧車に乗って園内を一望して一日を締めくくりました。緑や土に触れることが少なくなった園児たちが花植えを通して自然を身近に感じられるこの活動は、これからも継続していく予定です。

地域活動
ノース・ウェルカム花ロード

セガサミーゴルフエンタテインメントでは、新星町および蘭越町内、ザ・ノースカントリーゴルフクラブ正門玄関前に28本のプランターを設置しました。地元町内会の皆さんにもご協力いただき、千歳市の「千歳ウェルカム花ロード」の開催に合わせたこの活動は2011年から継続しています。道外ツアーのお客さまや当クラブにご来場のお客さまの目を楽しませる色とりどりの花々を約400株植花しました。

地域活動
地域の皆さまとの交流

SEGA

セガでは、毎年7月に行われる羽田神社夏季例大祭へ寄付を行うとともに、「子ども神輿」の休憩所を事業所敷地内に設け、飲料を提供しています。また、町内会主導で行われる月例のごみ拾い「街並み清掃活動」へも積極的に参加しています。

都市対抗野球大会では、町内会の皆さまからセガサミー野球部への熱い声援をいただきました。今後も地域の皆さまとの交流を密に続けていきます。

地域活動　小江戸川越マラソン2013への特別協賛

Sammy

サミーでは、川越工場の地元で毎年開催される「小江戸川越マラソン」に特別協賛しています。2013年11月の大会では、10,016名のランナーが出場しました。有志のサミー社員18名は沿道の給水所ボランティア、そして、サミーおよびグループ社員・お取引先からは74名がランナーとして大会に参加しました。1万人を超えるランナーと大勢のボランティアによって、穏やかな市民交流の一日となりました。

地域活動　高齢者の方にショールームを開放

Sammy

サミーでは2006年6月より東京都豊島区社会福祉協議会のご協力のもと、高齢者の方々を本社ショールームにお招きし、パチンコ・パチスロを楽しんでいただいています。これまで計181回、のべ1,359名（2014年3月31日時点）の方にご参加いただきました。開催時には介護福祉士の付き添いのもと、高齢者の方々と和やかに親交を深めています。なお、この活動は仙台・札幌・広島支店でも実施しています。

また2013年度は、パチスロ機遊技が認知機能低下予防及び向上に寄与するという実証調査結果を受けて、「日電協※1」が実施する介護老人保健施設の慰問に参画しました。サミーは、パチスロ機を持参するとともに、高齢者の方々に遊び方をアドバイスするなど、本取り組みの運営をサポートしました。

Topics　パチスロ機遊技による脳活動実証調査への協力

サミーは、「日電協」と「回胴遊商※2」が2013年に実施したパチスロ機遊技による脳活動の実証調査に委員として参画しました。人口の高齢化が進む日本では、増え続ける認知症が大きな問題となっています。そうした中、「日電協」と「回胴遊商」は、脳活動分野におけるパチスロ遊技行動の可能性を検証すべく、脳科学と健康科学を専門とする諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授に実証調査を依頼しました。その結果、パチスロトレーニングによって、50代以上の被験者の脳活動が活性化し、認知機能低下予防及び向上に寄与することが認められました。

ステークホルダーの声

諏訪東京理科大学
共通教育センター教授
篠原 菊紀 氏

新たな価値の創造を期待しています

すでに若年層などではパチスロ遊技が脳機能を活性化する効果が認められてきました。今回の調査では、認知機能が落ち始める50歳以上の年齢層に対し、パチスロ遊技がもたらす脳の活性化を確かめることを主眼としました。その結果、空間認知にかかわる頭頂葉と左側の前頭葉が活性化し、1ヶ月間パチスロ機を使ったトレーニングで認知機能が向上する効果が見られました。また、米国ハーバード大学の研究では、運動や栄養と並び遊びやレジャーが認知機能の低下予防に役立つことが示唆されています。今後は、ホールが遊ぶ場に留まるのではなく、高齢者への健康サービスを提供する場となることを期待したいと思います。

担当者の声

業界の責任ある担い手として、社会貢献も積極的に進めていきます

私たち渉外部は、個社の業務だけではなく当社が所属する業界団体と協力し、監督官庁の指導のもと業界の健全化に向けた取り組みや、事業特性を活かし社会貢献につながる活動のサポート等、様々な取り組みを行っています。2013年度は、パチスロ機遊技による脳活動の実証調査や、「日電協」が実施する介護老人保健施設の慰問等に参画・協力しましたが、今後も責任ある業界の担い手として、業界の発展、そして社会の発展に貢献できるような取り組みを続けていきます。

サミー株式会社
知財・渉外本部 渉外部
山崎 俊英

※1 日電協：日本電動式遊技機工業協同組合は、パチスロ（回胴式遊技機）市場の活性化および健全化を促進することを主たる目的として活動する団体。
※2 回胴遊商：回胴式遊技機商業協同組合は、主にパチスロを販売する商社約五百数十社で組織され、遊技業界の健全な運営と啓蒙を目指す事業協同組合。

セガサミーグループ　国内グループ会社紹介 ～CSR活動紹介～

※2014年7月31日現在

ゲームメーカーのセガとパチンコ・パチスロメーカーのサミーを中心に、玩具・携帯電話コンテンツ・アニメーション制作等を手がける総合エンタテインメント企業として事業を拡大しています。

株式会社セガ

SEGA

- 〒140-8583　東京都品川区東品川1-39-9 カナルサイドビル
- アミューズメント機器の開発・製造・販売、アミューズメント施設の開発・運営、ゲームソフトウェアの開発・販売

→CSR活動は本レポート全般で紹介

サミー株式会社

Sammy

- 〒170-6029　東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60
- パチンコ・パチスロ遊技機の開発・製造・販売

→CSR活動は本レポート全般で紹介

株式会社サミーネットワークス

Sammy Networks

- 〒106-6008　東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー8F
- 携帯電話、PC向けのゲーム関連コンテンツの配信サービス

グループ企業3社（サミーネットワークス、セガネットワークス、バタフライ）にて社員の家族をご招待した"Family day"を同日開催しました。お子さまから大人まで楽しくオフィス内を見学できるイベントでは、大勢の社員とその家族が楽しいひと時を過ごしました。社員のやりがいを支える家族は、大切なステークホルダーです。今後も社員とその家族をつなぐイベントを継続していきます。

株式会社セガトイズ

SEGA TOYS

- 〒150-0012　東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア8F
- 玩具の企画・制作・販売

「東北こども博」に、初年度（2011年）から特別協賛し、毎年参加しています。2013年10月の本イベントでも、たくさんの玩具を提供し、子どもたちの笑顔と元気を呼び起こしました。

株式会社トムス・エンタテインメント

TMS ENTERTAINMENT CO., LTD.

- 〒164-0001　東京都中野区中野3-31-1
- アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出

年に1度の行事として、年末謝恩パーティーを開催しています。日頃からお世話になっているお取引先やお客さまをご招待し、1年の感謝とさらなる関係性の強化を図っています。

タイヨーエレック株式会社

TAIYO ELEC

- 〒452-0839　愛知県名古屋市西区見寄町125
- パチンコ・パチスロ遊技機の開発・製造・販売

社員の声から始まった献血ボランティア活動を継続実施しています。本活動は愛知県赤十字血液センター様にご協力いただき、毎年1回実施。今年で5回目になりました。今回は、本社勤務の役職員22名が参加しました。今後も広く社会に貢献できるよう、継続的に実施していきます。

株式会社アトラス

ATLUS

- 〒154-0024　東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル
- コンシューマソフトウェア開発並びにデジタルゲーム事業

株式会社アルテメイト

ARUTEMATE

- 〒104-0045　東京都中央区築地1-9-5 一九堂ビル5F
- 音源制作と販売、音楽イベント制作、マーチャンダイズ事業等

株式会社インデックス

index

- 〒154-0004　東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
- コンテンツ＆ソリューション事業およびこれに付随関連する事業

株式会社ウェーブマスター

- 〒153-0064　東京都目黒区下目黒3-9-13 目黒炭やビル4F
- 音楽CD・映像DVDの制作、音楽出版

株式会社f4samurai

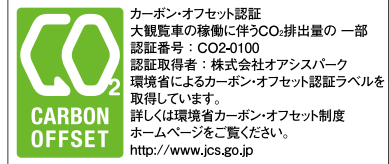
f4samurai

- 〒101-0041　東京都千代田区神田須田町2-7-3 VORT秋葉原ビル4F
- ソーシャルアプリ（ソーシャルゲーム）の企画開発、iPhone、Androidアプリの企画開発、Webサービスの企画開発

株式会社オアシスパーク

- 〒501-6021　岐阜県各務原市川島笠田町1564-1
- 岐阜県営公園世界淡水魚園（オアシスパーク）の企画・開発・運営・管理/高速道路パーキングエリア内商業施設の企画・開発・運営・管理/上記コンサルティング業務

園内のシンボル施設である観覧車の電力使用に伴うCO_2排出量について、地元岐阜県産J-VERを使いカーボン・オフセットを行うことで平成25年度カーボン・オフセット認証取得支援事業に選ばれました。

カーボン・オフセット認証
大観覧車の稼働に伴うCO_2排出量の 一部
認証番号：CO2-0100
認証取得者：株式会社オアシスパーク
環境省によるカーボン・オフセット認証ラベルを取得しています。
詳しくは環境省カーボン・オフセット制度ホームページをご覧ください。
http://www.jcs.go.jp

株式会社銀座

- 〒170-6028　東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 28F
- パチンコ・パチスロ遊技機の開発・製造・販売

株式会社ジーニーズ

JINNI'S VFX & CG Animation

- 〒150-0001　東京都渋谷区神宮前5-7-18 プラザ青山2F
- CG映像の企画製作

株式会社セガ エンタテインメント

SEGA ENTERTAINMENT

- 〒140-8583　東京都品川区東品川1-39-9 カナルサイドビル
- エンタテインメント施設、ダイニングダーツバーの開設・運営並びにフランチャイズ事業など

飲食店施設事業では、アルコールを提供する事業者の責任として、未成年の入店を全店で禁止し、ご入店時の年齢確認を徹底し、皆さまに気持ち良く安心してご利用いただけるよう配慮しています。

セガサミーゴルフエンタテインメント株式会社

- 〒066-0068　北海道千歳市蘭越26番地 ザ・ノースカントリーゴルフクラブ
- ゴルフ場の運営

「セガサミーカップゴルフトーナメント」のチケット収入の一部をつかい苫小牧市社会福祉協議会へ車椅子二台を寄贈、そして地元新星町と蘭越町内会並びに苫小牧民報ボランティア基金に寄付をしました。

セガサミークリエイション株式会社

- 〒170-6039　東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 39F
- カジノ機器の開発・製造・販売

株式会社セガネットワークス

- 〒106-6009　東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー9F
- インターネットその他通信手段を利用した商品・サービスの企画、開発、設計、販売、配信、管理運営に関する事業

株式会社セガ・ロジスティクスサービス

- 〒144-0033　東京都大田区東糀谷2-1-18 東邦ビル
- 物流業務、物流管理業務、物流システム設計、搬入設置業務、保守サービス業務、包装資材・包装商品販売、電子部品・OAサプライ品販売、電子機具・機械修理・メンテナンス、アミューズメントリ・ユースパーツ販売、アミューズメント機器のレンタル・販売

千葉県佐倉市の「モノづくりFesta」に、今年も無償で出展協力いたしました。地域での認知度も高く、市民の方々からも"毎年楽しみ"と評判を得ています。今後も地域密着型の企業づくりを目指していきます。

株式会社ダーツライブ

- 〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー18F
- ゲーム機器及び、ゲーム用ソフトウェアの企画・開発並びに、販売・コンピュータネットワークシステムの管理・運営・保守、イベントの企画・立案・運営、情報提供サービス業

関東を中心とする約60校の大学生が活動する学生ダーツ団体「大学ダーツ連盟」の活動を継続的に支援しています。これからも学生ダーツ団体やダーツサークルとの連携を深め、ダーツのさらなる振興に努めます。

株式会社ディー・バイ・エル・クリエイション

- 〒150-0011　東京都渋谷区東3-24-2 恵比寿STビル4F
- 舞台演目の製作、興行、関連商品の企画、開発、製造、販売

株式会社テレコム・アニメーションフィルム

- 〒164-0001　東京都中野区中野3-31-1
- テレビ・ビデオ・CF・劇場用アニメーションの企画・制作

株式会社トクシス

- 〒150-0011　東京都渋谷区東2-23-12 プレミアム・ユーゾーン4F
- ゲーム・遊技機・映画・TVCF・VP等、各種映像・デジタルコンテンツの企画制作

株式会社トムス・フォト

- 〒164-0001　東京都中野区中野3-31-1
- アニメーション映像の制作

株式会社トムス・ミュージック

- 〒164-0001　東京都中野区中野3-31-1
- アニメーション音楽著作物の制作・管理

日本マルチメディアサービス株式会社

- 〒110-0006　東京都台東区秋葉原1-1 秋葉原ビジネスセンター
- 情報提供サービス業、コールセンター、人材派遣業

障がいをもつ方々に携帯電話をより一層便利にご利用いただくため、大手通信キャリアの携帯電話をご利用の方々を対象に104番号案内サービスを案内料、通話料ともに無料でご利用いただける「スマイルコール」(障害者向け無料番号案内サービス)を実施しています。

株式会社アネスト

- 〒150-0041　東京都渋谷区神南1-6-6 OZAWA BUILDING 5F
- 人材派遣事業、人材紹介事業

インフィニトーク株式会社

- 〒110-0006　東京都台東区秋葉原1-1 秋葉原ビジネスセンター
- ソフトウェアの開発・販売、コールセンター構築のシステムインテグレーション、通信ネットワークの構築及びコンサルティング

株式会社patina

- 〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMAIビル9階
- 人材派遣事業、人材紹介事業

株式会社ハイブクリエーション

- 〒980-0013　宮城県仙台市青葉区花京院2-1-14 花京院ビルディング8F
- ダーツマシンのレンタル、ダーツ用品の卸売および小売、イベント企画・運営

株式会社バタフライ

- 〒106-6008　東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー8F
- 携帯電話、PC、スマートデバイス向けゲーム関連コンテンツの企画・開発・運営・受託

フェニックスリゾート株式会社

- 〒880-8545　宮崎県宮崎市大字塩路字浜山3083番地
- 複合型リゾート(ホテル、ゴルフ場、国際会議場等)の開発・運営

小さなお子さま連れの方、障がいのある方、一時的に身体の機能が低下している方、妊娠中やご高齢の方。どんな方も心地よく過ごしていただくために、バリアフリールームをご準備しています。

マーザ・アニメーションプラネット株式会社

- 〒140-0002　東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル 18F
- CGアニメーションの制作、劇場アニメーション映画の企画・製作、ライセンス事業等

アニメーション会社の見学を希望する学生たちに「社内ツアリング」を実施しています。2013年度はのべ109名の学生が来社し、将来の希望に胸を膨らませて社内を見学しました。

株式会社ロデオ

- 〒170-6028　東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 28F
- パチスロ遊技機の開発・製造・販売

リバプール株式会社

- 〒101-0051　東京都千代田区神田神保町3-17 ヨシダFGビル2F
- エンタテインメント商材の制作・販売

セガサミーグループ CSRレポート2014

第三者意見

上智大学
経済学部教授
上妻 義直 氏

このコメントでは、セガサミーグループの「CSR Report 2014」を拝見し、評価したい取り組みと今後の期待事項について、筆者の主観的な意見を述べています。

1 被災地支援活動の継続

東日本大震災が発生してから3年余が経過しました。しかし、セガサミーグループの被災地支援活動は現在も続けられています。それは被災地応援イベント、グループ社員によるボランティア活動、新入社員研修の3つの活動から組み立てられており、中でも被災地応援イベントにセガサミーグループの事業特性がもっとも活かされているように思います。

「エンタテインメントの提供によって豊かな社会の実現と文化の創造に貢献すること」がセガサミーグループの経営理念です。それは単に人々の生活に補助的なスパイスを提供するだけに留まらず、人間が尊厳を持って生きていくために必要な「心のサポート」に深く関わっています。大震災からの復旧・復興において、まずは衣食住の問題が解決されなければなりませんが、それ以外にも、心の傷に対するケアは重要な課題であるにもかかわらず、誰がどのようにそれを担うのか、行政の対応も含めてきわめて曖昧になっているのが現状です。セガサミーグループの取り組みは、人々の笑顔という果実に支えられて、社会的な共有価値の創造にも大きく貢献しているように感じられます。

2 社会的影響に関する情報開示

その一方で、エンタテインメント事業には、負の社会的影響が指摘されることも少なくありません。パチンコ・パチスロへの依存問題、ガチャや未成年の過度なスマホゲーム等の利用による課金問題のように、エンタテインメントサービスに付帯する社会的影響は次第に無視できない存在になっています。

セガサミーグループでは、これらの問題に積極的に取り組んでおり、情報開示の範囲も拡大してきました。こうした情報開示に積極的な企業姿勢は、これまで何度も受賞している「インターネットIR表彰」や「日経アニュアルリポートアウォード」のように、IR活動の領域では以前から高く評価されてきました。負の影響に関するCSR情報開示もさらに進めて、事業活動の透明性を確保するとともに、社会的信頼を一層堅固なものにしていただきたいと思います。

3 改善と期待

取り組み面での改善には、日本のゲーム・遊技機業界で初めて国連のグローバルコンパクトに署名したこと、グループ海外贈収賄禁止に関する方針を策定したこと、サミーが情報管理委員会を新設したこと、セガトイズで女性執行役員が誕生したこと、などが見られます。また、開示面では、これまでセガとサミーで別々に集計されていた人事・労務データが、グループ規模で開示されるようになって、一覧性が著しく向上しました。非正規社員数が開示されたことも大きな進化です。

しかし、改善を期待する事項も存在します。特に、主要業績評価指標(KPI)による目標・実績管理は、CSRマネジメントを効率的に遂行する上で重要な課題です。評価可能な目標が設定されていなければ、PDCA運用による継続的改善は望めないからです。しかし、現在の「目標と進捗・実績」表では、課題が定性的に記述されており、進捗・実績状況による課題達成度の評価を困難にしています。これは目標設定がない環境データの場合も同様です。重要課題への取り組みがさらに適切な成果をあげられるように、KPIによる目標・実績管理の導入について早期の検討を期待します。

第三者意見をいただいて

本年度のレポートでは、当社グループ全体としてエンタテインメントを通じ、どう社会に夢や感動といった活力をお届けしようとしているか、また期待される社会的責任を果たすべくどのように日々取り組んでいるかをお伝えすることを重点に取り組みました。

2013年度の「CSR推進方針」制定に引き続き、2014年度は「グループ・マネジメントポリシー」の制定、国連グローバルコンパクトへの署名と体制の整備を進め、またグループ規模での情報開示の充実・強化にも取り組んでおります。

東北震災復興支援につきましては、復興フェーズとエンタテインメント企業としての特徴をどう活かせるか、模索しつつ継続的に実行しております。

上妻先生から昨年来、ご指摘いただきますように、CSRマネジメントのサプライチェーン等への更なる展開や情報開示・目標管理面での一層の充実強化を行いつつ、継続的な改善を続けることで社会との信頼を一層強固なものにしてまいりたいと考えます。

巻末に本レポートに関するアンケートがございます。読者の皆さまからの忌憚のないご意見をお待ちしております。

セガサミー
ホールディングス株式会社
執行役員
グループCSR推進室長
石倉 博

『セガサミーグループ CSRレポート2014』アンケート

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

『セガサミーグループ CSRレポート2014』をお読みいただきありがとうございました。
今後のCSR活動や次回のCSRレポートの改善に活用させていただきますので、
大変お手数ではございますが、アンケートにご回答の上、FAXにてお送りください。

FAX:03-6215-9956 セガサミーホールディングス株式会社
グループCSR推進室 行

Q1 『セガサミーグループ CSRレポート2014』について、どのようにお感じになりましたか？

❶内容の理解しやすさ	□非常に理解しやすい	□理解しやすい	□やや理解しにくい	□理解しにくい
❷求める情報の充足度	□十分満たしている	□ほぼ満たしている	□やや足りない	□足りない
❸読みやすさ	□非常に読みやすい	□読みやすい	□やや読みにくい	□読みにくい
❹当グループのCSR活動について	□大変評価できる	□評価できる	□評価できない	

Q2 下記のページごとの感想で、あてはまる箇所に○をご記入ください。
またその理由をお聞かせください。

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
❶トップメッセージ	□	□	□	□
❷社長メッセージ	□	□	□	□
❸グループ概要	□	□	□	□
❹事業概要	□	□	□	□
❺特集1（サミー）	□	□	□	□
❻特集2（セガ）	□	□	□	□
❼特集3（セガトイズ）	□	□	□	□
❽特集4（フェニックスリゾート）	□	□	□	□
❾東日本大震災復興支援活動	□	□	□	□
❿セガサミーグループのCSR	□	□	□	□
⓫コーポレート・ガバナンス	□	□	□	□
⓬コンプライアンス/リスク管理	□	□	□	□
⓭お客さまとともに	□	□	□	□
⓮お取引先とともに	□	□	□	□
⓯株主・投資家とともに	□	□	□	□
⓰社員とともに	□	□	□	□
⓱社会とともに（環境）	□	□	□	□
⓲社会とともに（社会貢献）	□	□	□	□
⓳国内グループ会社紹介	□	□	□	□
⓴第三者意見	□	□	□	□

Q3 本レポートに関するご意見・ご要望などを記入ください。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

Q4 セガサミーグループに期待することやご意見・ご要望などをご記入ください。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

Q5 本レポートをお読みになって、セガサミーグループに対する印象はかわりましたか？

□よくなった　□わるくなった　□かわらない

Q6 『セガサミーグループ CSRレポート2014』をどのようなお立場からお読みになりましたか？

□お客さま　□株主・投資家　□金融機関　□お取引先・協力企業　□企業の環境・CSR担当
□政府・行政関係者　□NPO・NGO関係　□報道関係　□学生　□教育・研究機関　□社員・家族
□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■お差し支えなければ以下にもご記入ください。

性別：□女性　□男性

年齢：□10歳代　□20歳代　□30歳代　□40歳代　□50歳代　□60歳代　□70歳代以上

ご協力ありがとうございました。